

COMPACT UP SCALER UNIT FRAMEMEISTER

XRGB-mini

取扱説明書

はじめに

この度は「FRAMEMEISTER (フレームマイスター)」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本書には、本機を正しくご使用いただくための接続方法や操作方法が書かれておりますので、ご使用になる前によくお読みください。

【DVI 端子で表示装置に接続のお客様へ】

出力モードは正しく設定してください

本機で正しい表示を行うために、必ず「出力モード」を正しく設定してください。「出力モード」は本体のスクリーン・メニュー、またはリモコンの「出力モード (HDMI ボタンまたは DVI ボタン)」で設定できます。

表示装置の HDMI 端子に接続時 → 出力モードを「HDMI」にする。

表示装置の DVI 端子に接続時 → 出力モードを「DVI」にする。

※工場出荷時の出力モード設定は「HDMI」です。

これらの設定を間違えると、映像の色がおかしくなったり、画面が乱れる、表示されない、などの症状が発生します。なお出力モード設定後は、出力解像度 (下記) も設定して下さい。

【本機からの出力解像度は表示装置に合わせましょう】

本機の出力解像度は、出荷時にはできるだけ多くの表示装置 (テレビやディスプレイ) で表示が可能な様に解像度が低めに設定されています。しかし、この解像度をご利用の表示装置の最適な解像度とは限りませんので、「出力モード (スクリーン・メニューの [HDMI 出力モード]、または [DVI 出力モード] の解像度設定)」を、ご利用の表示装置に最適な設定にしてください。

もくじ

もくじ	2 ~ 3
使用上のご注意と警告・禁止事項（重要）	4 ~ 7
ACアダプターに関する注意事項	7
正しい設置方法	8
その他ご注意いただきたいこと	8
絶対にしてはいけないこと	9
業務や設備で使用される方へ	9
保証に関して	10
保守期間とお問い合わせに関して	10
FRAMEMEISTERとは	11
縦置きスタンドの利用方法	12
本書でのHDMI規格の表記にご注意ください	12
同梱品一覧	13
接続に必要な物	14
本機に接続できる機器	15
対応できない、または動作保証できない機器や信号	16
本機のHDMI入力端子に機器を接続されるお客様へ	17
HDMI入力端子を持つ表示装置のアスペクトに関して	17
DVI入力端子付きの表示装置を接続されるお客様へ	17
DVI入力端子付きのブラウン管ディスプレイに関して	17
FRAMEMEISTERの各部名称と解説	18 ~ 22
接続の前に	23
各機器との接続と表示	24 ~ 25
スクリーン・メニューとその機能	26 ~ 41
■入力音声	28
■画質モード	28 ~ 29
■アスペクト	29
■スクリーン	30 ~ 32
■画質調整	33 ~ 34
■画面特殊設定	34 ~ 36
■オプション	36 ~ 38
■出力モード	39
■HDMI出力モード	39
■DVI出力モード	40

■SPECIAL	40 ~ 41
リモコンの機能と操作	42 ~ 48
はじめてリモコンを使用するとき	49
接続の際の制限事項（知っておきたいこと）	50 ~ 58
■入力切替えの操作をしたり、入力信号の解像度が変化すると画面が 点滅したり、数秒間映像と音声途切れてしまう	50
■HDMIケーブル接続時にできるだけしない方がよいこと	50
■「スクリーン」の各機能に対応しない解像度	50
■すべての映像が本機の出力解像度に変換されます	51
■映像の遅延に関して	51
■端子の干渉	52
■対応できない音声の解像度	52
■解像度が変わったり入力を切り替えると音声にノイズが発生する ことがある	52
■映像のサンプリング品質に関して	53
■特定の映像を入力すると画面がピンク色になる	54
■画面上部に歪みが発生する機器があります	54
■テレビとパソコン用ディスプレイの表示領域の違い	54
■入力可能なパソコンの解像度	55
■1920×1200ドット及び1600×1200ドット出力時の制限	55
■インターレース（480i）とノンインターレース（240p疑似 インターレース）の頻繁に入れ替わるゲーム映像に関して	56
■CECのリンク機能について	56
■1080i等インターレース映像が遅延しやすい理由	57
■表示装置の性能による遅延について	57
■ゲーム機用のRGBケーブルにご注意ください	58
ファームウェアのアップデートに関して	59
仕様	60 ~ 63
■本体仕様	60 ~ 61
■対応入力解像度	62
■対応出力解像度	62
■リモコン仕様	63
トラブルとQ&A	64 ~ 70
修理ご依頼時の送付・梱包に関して	71

使用上のご注意と警告・禁止事項（重要）

本機は精密な電子機器です。お取り扱い時には、次のことにご注意ください。以後に記されている「本機」とは、製品本体、ACアダプター等を含む製品のことです。

【警告：煙が出たら！】

使用中に、本機から煙が出たり、変な臭いがするときは、すぐに使用を中止し、「電波新聞社・販売部 ユーザー・サポート係」または、「マイコンソフト株式会社 ユーザー・サポート係」までご連絡ください。そのままご使用になりますと火災や感電の原因となりますのでご注意ください。

【警告：本体やACアダプターを振ると大きな音が出る時】

製品の品質には万全を期しておりますが、本体を振って、部品が外れているような大きな音が出る場合は、すぐに使用を中止し弊社へご連絡ください。

【禁止：ぬれた手でさわらない】

本機をさわる際、ぬれた手で触れないでください。
ぬれた手で触ると、感電の恐れがあり、たいへん危険です。

【禁止：家具や暖房器具などに注意】

本機やケーブルの上に物が乗った状態で使用しないでください。
また、ストーブやエアコンなどの発熱する機器の側で設置・使用しないでください。

【設置環境に注意】

本機の上や下に布を置いたり、テレビの上やAVラックの中に設置するなど、熱のこもりやすい状態で使用しないでください。

【警告：お子様に注意】

本機をお子様のおられる場所で使用したり、設置しないでください。
また、お子様の触れない場所に本機（付属品を含む）を保管してください。特に、電源ケーブルや乾電池の取り扱いには十分お気をつけください。
小さなお子様がおられる場所では特に注意が必要です。

【注意：発熱注意】

本機を長時間使用すると、本体やACアダプターが高温になることがあります。お手を触れる際には十分ご注意ください。
特に、端子などの金属部が熱くなることがあります。

【禁止：分解・改造禁止】

分解・改造は絶対にしないでください。分解・改造後の保証・修理はいたしません。分解・改造によって人体に甚大な被害を被ったり、怪我・感電・発火に至ることがあります。

【禁止：直射日光】

本機を直射日光の当たる場所に置かないでください。製品寿命の低下、動作不良、ケースが変形・変色するなどの症状が発生する恐れがあります。

【禁止：衝撃禁止】

本機は精密機器です。使用中や輸送時に強い衝撃を与えたり、ケーブルを引っ張るなど激しい取り扱いはしないでください。ACアダプターなどの付属品も同様です。

【禁止：屋外設置は禁止】

本機は、室内での使用を前提として設計されています。このため、屋外など過酷な条件や、極端な温度・湿度条件下で使用した際の動作は保証できません。

【注意：ホコリ・油煙には注意】

本機を、ホコリの多い場所や油煙のある場所では使用しないでください。故障や漏電、発火の恐れがあります。

【禁止：異物挿入禁止】

本機の穴などから、異物を入れないでください。また、間違えて異物が入ってしまった場合は弊社へお問い合わせください。

【注意：雷注意】

雷が光り出したら、ACアダプターをコンセントから取り外してください。

雷の電気が、電源コンセントを伝って、本機に流れ込むことがあり、感電の恐れがあります。なお、本機の操作中またはACアダプターの脱着中に、天災（例えば落雷）によって受けた損害・被害は弊社は保証いたしません。

【禁止：ケーブルを持って引っ張らない】

ケーブルを取り外すときなどに、コードを引っ張らないでください。ケーブルの抜き差しは、必ず本体を手でしっかり固定し、ケーブルのコネクタ部（樹脂部）を持って行ってください。

※端子の金属部分には電気や信号が流れており、感電する恐れがあるため触れないでください。

【禁止：水場で使用禁止】

本機を、水を多く使う場所（お風呂や洗面所、キッチンなど）では絶対にご使用にならないでください。

本機に水がかかったり、製品内部に水が侵入すると、漏電、感電、火災、故障の原因となります。本機は防水処理されていません。

【禁止：AC100V 以外は禁止】

本機は専用のACアダプターをAC100V（50/60Hz）の電源コンセントに接続して使用します。AC100V 以外の電源コンセントには絶対に接続しないでください。AC100V 以外の地域（日本以外の地域）で使用する可能性がある場合は注意が必要です。

【注意：ケーブルを接続する時は電源オフまたはスタンバイにする】

ケーブルの脱着は、必ず接続している全ての機器の電源を「オフ（切）」、または「スタンバイ（待機）」の状態で行ってください。接続している機器の電源が「オン」のときにケーブルなどを脱着すると画面が映らなくなることがあるだけでなく、ショートなどをおこし、各機器が故障する恐れがあります。

【注意：結露に注意】

本機を寒い屋外から暖房されている部屋に持ち込むなど、急激な温度変化により、部品や本体表面に水滴がつく（結露する）ことがあります。

水滴がついたままご使用になりますと、故障、感電、漏電、火災の原因となります。結露した場合は、一定時間経過してから使用してください。

【注意：ペットにご注意ください】

ペット（動物）の居る部屋では設置・使用しない、もしくはペットの触れることのできない場所に設置してください。

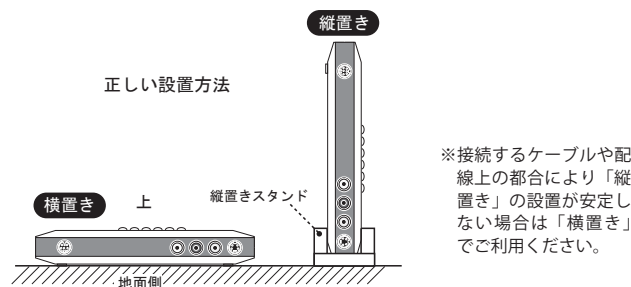
ペットがケーブルをかじるなどして傷を付けたり、糞尿が製品にかかってしまうと、ショートや火災、漏電、故障の原因となります。

ACアダプターに関する注意事項

- 本機をご使用にならないときは、本機のACアダプターをACコンセントから取り外してください。製品の品質には万全を期しておりますが、安全を考慮し、使用しないときは本機のACアダプターをACコンセントから取り外すことをおすすめします。
ACアダプターは本体が接続されていなくても、ACコンセントに接続されているだけで若干の電気を消費しますので、長期間使用しないときはACアダプターを取り外した方が安全で電気代も節約できます。
- 分解しないでください。感電・火災の原因となります。
- 同梱のACアダプターは必ずFRAMEMEISTER（フレームマイスター）でご使用ください。他の機器でご使用にならないでください。故障・感電・火災の原因となります。
- タコ足配線をしないでください。感電・火災の原因となります。
- 濡らしたり、濡れた手でACアダプターに触れないでください。火災・感電の原因となります。
- 使用中のACアダプターを布などでおおったり、包んだりしないでください。火災・発熱の原因となります。
- 短時間にコンセントの抜き差しを繰り返さないでください。故障の原因となることがあります。

正しい設置方法

- 本機は下図のように地面に対して水平、または垂直に設置してください。
- 縦置きする場合は同梱の「縦置きスタンド」をご利用ください。



その他ご注意いただきたいこと

- アロランプ等アロマ関連の装置を本体やACアダプターの近くで使用しないでください。アロランプの成分が本体内部やACアダプター内部に蓄積（付着）し、ショートや発火、漏電、故障の原因となります。
- 接続する端子や接続方法を間違えると、本機や接続した機器が故障する恐れがあります。接続の際は本書をお読みいただき、正しく接続してください。
- 本機を本来の目的以外の用途に使用しないでください。
- 車載でご使用いただいた場合の保証はいたしかねます。
- 本機や各機器を取り扱う際（特にケーブルの抜き差し時）は、事前に鉄の棒や鉄板などをさわり、体にたまっている静電気（電気）を取り除いてください。静電気は本機だけでなく接続する全ての機器の故障の原因となります。
- 長時間映像を表示し続けると、テレビやディスプレイ画面に映像の焼き付きが起こることがあります。使用しないときは、テレビやディスプレイの電源をオフにするか、本機の電源をオフにすることをお勧めします。プロジェクション方式のテレビやディスプレイでは、焼き付きが起こりやすいので特にご注意ください。弊社では、表示機器への画面の焼き付きが発生した際のいかなる保証もいたしません。

絶対にしてはいけないこと

特にRGBケーブルでゲーム機を接続されるお客様は必ずお読み下さい。

RGBケーブル（21ピン）は、必ずご利用のコントロールボックス（アーケードゲーム機用のコントローラー装置）やゲーム機専用のRGBケーブルをご利用ください。接続できるからといって、間違ったケーブルを接続しないで下さい。RGBケーブルには5Vの電源が出力されている物があり、間違ったケーブルを使用し、ショートするなどすると、ケーブルが発熱し、ケーブルが溶けたり、燃えることがあります。またご利用の大切なゲーム機や本機にも大きなダメージを受けます。特に8ピンDIN端子のNEOGEO用のRGBケーブルを配線の異なるコントロールボックスに接続する、MSX用のケーブルを未対応の機器に使う、自作のRGBケーブルで配線が間違っている、PAL用のRGBケーブルをNTSCのゲーム機に接続する、などは絶対におやめください。火災の原因にもなります。

※本機のRGB入力はアーケードゲーム機の映像信号での動作は保証しておりませんのでご了承ください。

業務や設備で使用される方へ

- 本機は、業務用途での使用（例えば数年間電源を切らずに連続使用するなど）を前提として設計されておりませんので、製品寿命や耐久性において、お客様の満足がいかないことがあります。このため、他機器（産業用機器や製造装置など）へ組込み込んで出荷するなど、業務用途で長期に連続稼働が必要とされるシステムへの安易な導入はお勧めできません。やむを得ず本機を使用しなければならないときは、保守可能な期間をご理解いただいた上、「故障時や生産終了時の代替機材を各自で事前に準備しておく」、など十分考慮の上でご検討ください。なお、本機が故障した場合に発生した二次的な損害に関しては、弊社では保証できません。また、本機が故障した際、修理中の代替機などをご用意しておりません。
- 本機は一般的なオフィス（工事現場や倉庫などではない）や家庭での使用を前提として設計された民生用の装置です。本機を、軍事機器、航空宇宙機器、原子力制御システム、幹線通信機器、交通機器、医療機器および、各種安全装置など、その故障や誤動作が社会・公共性または、直接人命や人体、財産に影響を及ぼすような高い品質・信頼性が要求される用途に使用しないでください。
- 本機を、通気性、ホコリ、安全面、メンテナンスなどの問題から屋根裏や床下など手の届かない場所に設置することはお勧めできません。

保証に関して

- 本機の保証期間は、保証規定に従いお買い上げ日から6ヶ月となります。それ以降は有償修理となります。
- 本機を日本国以外の国や地域で使用した際の事故、故障、損害に関しましては保証できません。保証規定は、日本国内においてのみ有効です。
- この取扱説明書の指示に従わずに発生した、いかなる事故、損害に関しても、弊社は一切責任を負いません。

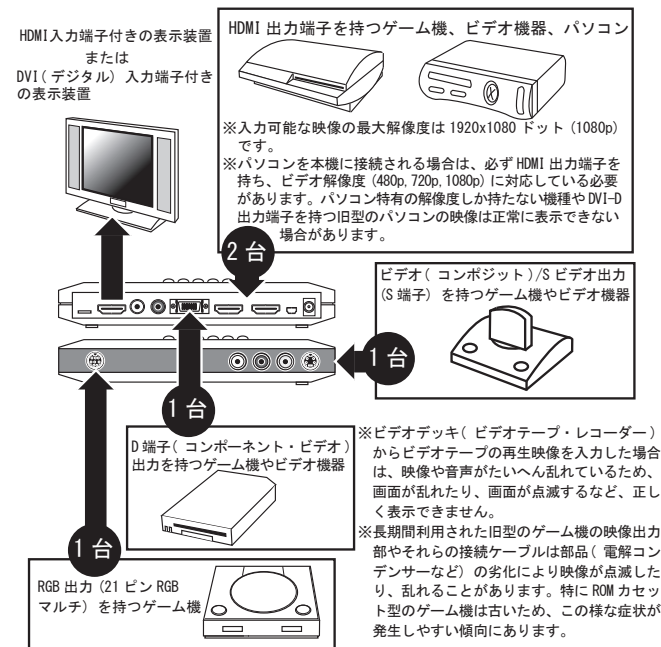
保守期間とお問い合わせに関して

- 本機のサポート期間は、生産完了後5年間でさせていただきます。それ以降は、部品などの供給の問題から修理できない事があります。なお、代替部品で修理が可能な場合がございますので、弊社へお問い合わせください。
- 本機の仕様や外観を改良のため予告なく変更する場合があります。また、予告なく本機が生産や販売を終了する事があります。ご了承ください。
- どうしても本機が正常に動作しないときや、操作がよく分からないとき、本書をご覧になっても解決できない問題は、まず弊社にご連絡いただき、担当者の指示に従ってください。
- 本機を長期間ご利用になって、画面が乱れがちになってきたり、お客様側で故障の可能性があると判断したときは、できるだけ早く本機のご使用を中止していただき、弊社へご相談ください。

FRAMEMEISTERとは

本機はビデオ端子、S端子（Sビデオ）、D端子（コンポーネント・ビデオ）、RGB端子（21ピンRGBマルチ）、HDMI端子の各信号を、HDMI、またはDVI（デジタル）入力可能なテレビやディスプレイに変換して表示することが可能なアップスケーラー・ユニットです。

接続概要



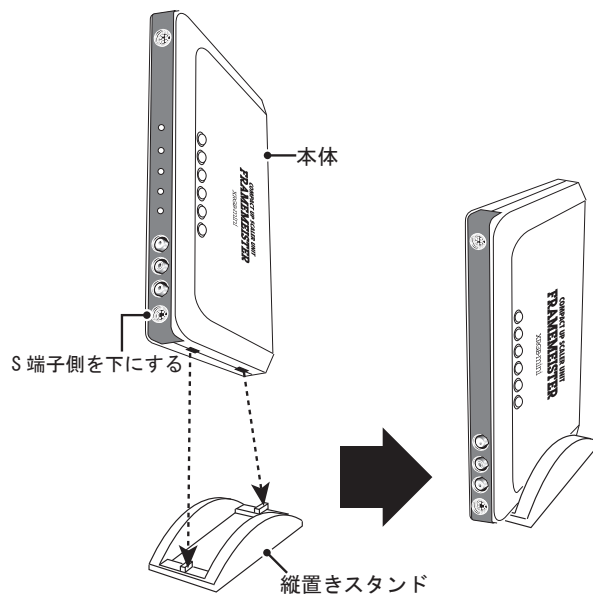
【特徴】

- HDMI、またはDVI（デジタル）入力可能なテレビやディスプレイに、ビデオ端子、S端子、D端子、RGB（21ピン）、HDMIの映像を表示可能（HDMI信号は2系統の入力が可能）。
- Marvell社製高性能スケーラーICを採用。画質調整、映像ソースに合わせた表示サイズ選択が可能。低遅延画像処理を生かしたゲームモードを搭載。

縦置きスタンドの利用方法

■本体を縦置きで使用する

本機を縦置きで設置する際は、縦置き用スタンドを使用して、下図のように設置します。なお、RGBケーブル（21ピン）や太いHDMIケーブルを使用した場合など、縦置きで使用するとかえって使いづらくなったり、設置が不安になる場合もありますので、ご利用環境に合わせて、縦置き、または横置きでご利用ください。



本書でのHDMI規格の表記にご注意ください

「HDMI HIGH SPEED」という表記は「HDMI 1.3」及び「HDMI 1.4」の規格で利用される表記方法です。しかしながら、本製品で対応可能なHDMI規格は「HDMI HIGH SPEED」に含まれる規格の内、「HDMI 1.3（相当）」のみです。このため、本書では「HDMI 1.4」の規格と区別し分かりやすく表記するため、特別な理由がない限り「HDMI HIGH SPEED」とは記述せず「HDMI 1.3（相当）」と表記しています。

同梱品一覧

本パッケージには、以下の物が同梱されております。ご使用前にご確認ください。製品には万全を期しておりますが、万が一、欠品などがございましたら、ご使用前に弊社までご連絡ください。



接続に必要な物

【接続ケーブルは、別途ご購入ください】

本製品には映像機器を接続するためのHDMIケーブルが付属していません。接続ケーブルは、ご利用の機器に合わせて電気店や家電量販店のAVアクセサリ・コーナーやゲーム機売り場にてお買い求めください。なお、HDMIケーブルに関しては、High Speed HDMIケーブル[カテゴリー 2] (HDMI 1.3) 以降のHDMI認証に合格した製品をご利用ください。また、DVI-D端子を持つ表示装置などに接続される場合は、HDMI-DVI変換ケーブルが必要です。

【HDMIケーブルの長さ】

弊社の推奨できるHDMIケーブルの場合、利用できるケーブルに明確な制限はありませんが、本機に関しては長さ3.5mまでのケーブルの使用を推奨いたします。

それ以下の長さのケーブルでもケーブル品質によっては正常に表示できない場合もありますが、あくまで目安としてください。

なお、5m、10mまたはそれ以上の長いHDMIケーブルのご利用に関しては、ケーブル品質やご利用環境、伝送される信号の帯域幅に左右されますので、弊社が動作を保証する物ではありません。

【HDMIケーブルの延長や挿抜による端子疲労に関して】

HDMI信号はたいへんデリケートな信号であるため接点が疲労したケーブルを使用すると、画面の乱れや点滅につながることがあります（端子の耐久性とは異なる問題です）。ケーブルは挿抜を繰り返すとHDMIケーブルの端子の接点が黒っぽく汚れてきます。この黒っぽい汚れが、信号の劣化に影響します。特に接点の疲労した長めのケーブルでは、機器とテレビを直接つなぐと問題ないが、本機やAVアンプなど、機器を複数接続してHDMIケーブルを延長する様なシステムでテレビに接続した場合、接続される機器やケーブルが増えるごとに信号が徐々に劣化して映像や音声に問題が発生することがあります。

本機に接続できる機器

【本機に映像・音声を入力可能な機器の例】

●ビデオ、S、D、HDMI 出力端子を持つ下記の機器

- ビデオ・レコーダー ○ビデオディスク・プレイヤー
- 家庭用ゲーム機 ○デジタル・ビデオカメラ
- デジタル・カメラ

●DVI-D、HDMI出力端子を持つ下記の機器

- パソコン

●水平同期周波数15kHzのアナログRGB信号（21ピンRGBマルチ）出力を持つ機器

- 家庭用ゲーム機

※対応可能なHDMI信号はHDMI1.3相当またはそれ以下のバージョンの信号です。

※入力できるパソコン映像はビデオ解像度（480p,720p,1080p）です。パソコン専用の画面解像度は正しく表示できない場合があります。

【本機の出力端子に接続可能な映像機器（表示装置）の例】

本機にはHDMI 1.3に対応したHDMI入力端子を持つ下記の機器や表示装置を接続することができます。

●HDMI入力端子を持つ表示装置

（テレビやプロジェクター、ディスプレイなど）

●HDMI入力端子を持つAV機器

（AVアンプやホームシアターシステム）

参考：出力側に接続可能な機器は、入力側の機器の映像や音声を直接HDMIケーブルで接続して利用可能な機器に限ります。

対応できない、または動作保証できない機器や信号

本機は下記の信号は正しく変換できないか、対応しておりません。

- ビデオテープレコーダー（VTR）の再生時の映像信号
- アーケードゲーム機器（業務用ゲーム機）の映像
- TTLデジタルRGBの映像信号
- HDMI 1.4の信号
- with Ethernet（HEC）の信号
- オーディオリターンチャンネル（ARC）の信号やそれらの信号を利用した機器
- デュアルリンク接続を必要とされる機器の信号
- HDMI 1.3に対応した信号であっても帯域幅が225MHzを超える信号
- DisplayPortなど別の規格の信号を何らかの方法でHDMI信号やDVI-Dに変換した信号
- 4K2Kの信号
- 30bit（各10bit）カラーや48bit（各12bit）のHDMI信号
- HDMI分配器やHDMIセレクターを経由したHDMI信号
- 3D（立体）表示のための信号
- HDMI信号に含まれる特定の音声信号（52ページ参照）

【HDMIの分配器や切替器（セレクター）などとの併用に関して】

本機をHDMI分配器やHDMI切替器（AVアンプを除く）に接続して使用された際の動作保証の範囲外とさせていただきます。これらの装置をご利用いただいた場合、EDIDの解像度の挙動が不明であったり、信号の特性が変化（または劣化）するなどの場合があります、正常に動作しない事があります。これらの装置を同時に使用された際の動作保証に関してはご容赦ください。

推奨の接続の例

機器（出力元）→本機→表示装置（TVやディスプレイ）

機器（出力元）→本機→AVアンプ→表示装置（TVやディスプレイ）

機器（出力元）→AVアンプ→本機→表示装置（TVやディスプレイ）

本機のHDMI入力端子に機器を接続されるお客様へ

本機にはHDMI入力端子が2系統用意されており、HDMI出力を持つ機器を接続可能です。

ただし、本機のHDMI入力端子は、パススルー用の物ではなく、入力された信号に色情報や表示位置、または解像度の変換（スケーリング）など、なんらかの調整を行って出力します。

このため、出力されたHDMI映像や質感は必ずしも入力されたHDMI映像と同じにならない場合があります。

HDMI入力端子を持つ表示装置のアスペクトに関して

HDMI入力端子を持つ表示装置に接続する場合（本機の出力モードが「HDMIモード（480p/720p/1080i/1080p）」の時）、テレビ側は必ずワイド（16：9）の物をご利用下さい。

HDMI入力端子を持つ表示装置の場合、ノーマル（4：3や5：4）の表示装置には対応いたしません。

※パソコン用ディスプレイでは16:10の機種もありますが、画面上でHDMI入力の時、16:9の表示が可能であれば問題ありません。

※DVI端子付きの表示装置（本機の出力モードが「DVIモード」の時）の場合で、本機の対応解像度を持つディスプレイであれば4：3でも5：4でも表示は可能です。なお、本機の出力解像度はディスプレイに合わせて正しく設定する必要があります。

DVI入力端子付きの表示装置を接続されるお客様へ

DVI端子には、元々音声の規格が無いためパソコンのDVI端子から出力される信号には音声が含まれておりません。このため、DVI端子付きの表示装置（パソコン用ディスプレイなど）では音声を利用することはできません。

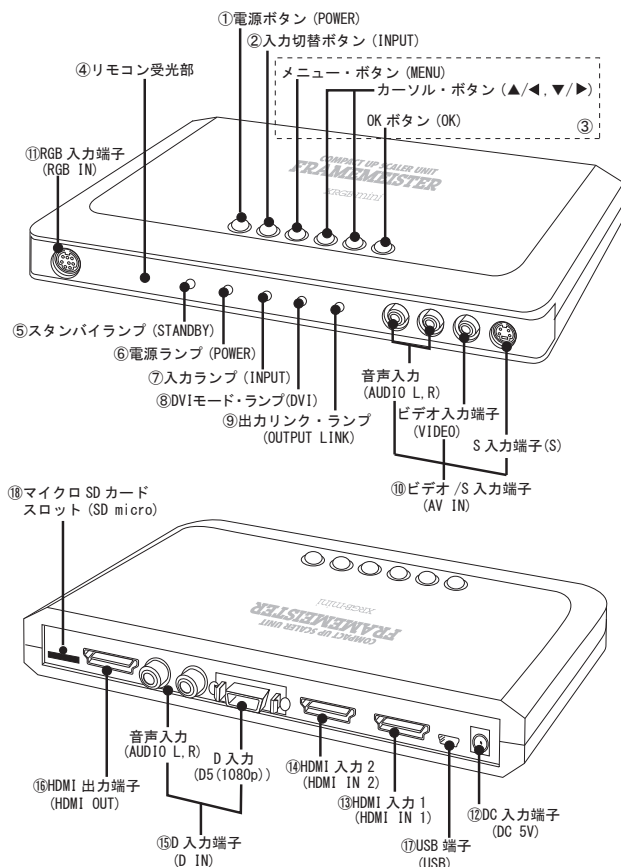
※一部独自の対応により、音声を利用できるディスプレイがあります。

DVI入力端子付きのブラウン管ディスプレイに関して

ブラウン管ディスプレイでDVI端子付きの旧型のディスプレイがあります（IBM社製の旧型のブラウン管ディスプレイなど）。これらのディスプレイは、配線が「アナログRGB（DVI-A）」の規格となっているため、本機は接続できません。

FRAMEMEISTERの各部名称と解説

本機の各部名称と機能は下記の様になっています。



①電源ボタン (POWER)

このボタンを押すことで、本機の電源を「オン (入)」にすることができます。もう一度このボタンを押すことで、本機の電源を「スタンバイ (待機)」にすることができます。

※スクリーン・メニューの「POWER」の設定が「オン」の時、通電時常に電源「オン (入)」となりますので、このボタンは使用できません。

②入力切替ボタン (INPUT)

本機の入力端子に接続されている信号を切替えることができます。このボタンを押す度に下記の様に切り替えることができます。

「ビデオ」→「S」→「D」→「RGB」→「HDMI 1」→「HDMI 2」→「ビデオ (戻る)」

なお、ビデオとSは、映像はそれぞれ切替え可能ですが、音声や設定は共通です。

③メニュー・ボタン、カーソル・ボタン、OKボタン (MENU、▲/◀、▼/▶、OK)

【メニュー・ボタン】：

スクリーン・メニューを表示したり、終了するボタンです。スクリーン・メニューの深い階層を表示しているときは、上の階層に戻ることができます。設定中の内容をキャンセルする、キャンセル・ボタンとしての機能もあります。

【▲/◀、▼/▶ボタン】：

スクリーン・メニューのカーソルを操作したり、設定内容を変更するためのボタンです。

【OKボタン】：

スクリーン・メニューのカーソルで選択された項目を決定したり、設定内容の決定を行うボタンです。

④リモコン受光部

リモコンの赤外線信号を受光する部分です。

リモコンはこの部分に向けて操作してください。

⑤スタンバイ・ランプ (STANDBY)

本機が待機状態の時に点灯するランプです。

⑥電源ランプ (POWER)

本機の電源が「オン (入)」の時に点灯するランプです。

本機に通電すると点灯します。

⑦入力ランプ (INPUT)

本機に映像信号が入力されたときに点灯するランプです。

⑧DVIモード・ランプ (DVI)

本機の「出力モード」の設定が「DVI」の時に点灯します。本機をDVI端子付きのディスプレイ（またはDVI端子付きのテレビ）のDVI端子に接続する際、このランプが点灯していることを確認してください。このランプが点灯しているときDVI端子付きのディスプレイで正しい表示が可能です。

なお、ディスプレイやテレビのHDMI端子に接続する場合は、逆にこのランプが消灯している必要があります。

⑨出力リンク・ランプ (OUTPUT LINK)

本機の出力端子に正しくテレビやディスプレイが接続され、HDMI信号が出力可能な状態であることを確認するランプです。このランプが点灯しているとき、本機は映像を出力可能です。

なお、表示装置の電源がオフの状態や表示装置側の入力チャンネルが本機以外に設定されている場合は点灯しないことがあります。

⑩ビデオ/S入力端子 (AV IN[VIDEO/S/AUDIO L,R])

ビデオ映像（コンポジット・ビデオ信号）、Sビデオ映像、アナログ音声信号を入力する端子です。ビデオ映像とSビデオ映像はそれぞれ独立した入力チャンネルとして使用できますが、音声や設定は共通となっています。

⑪RGB入力端子 (RGB IN)

SD解像度（水平同期周波数15kHz,60Hz,複合同期信号）のアナログRGB映像信号とアナログ音声信号を入力する端子です。主に旧型のRGB出力（21ピン）を持つ家庭用ゲーム機を接続できます。

⑫DC入力端子 (DC 5V)

電源を入力する端子です。同梱のACアダプター（5V）を接続します。

⑬HDMI入力端子1 (HDMI IN 1)

HDMI信号を入力する端子です。HDMI信号はVer.1.3相当の信号を入力できます。

※信号の対応の詳細は62ページをご確認ください。

⑭HDMI入力端子2 (HDMI IN 2)

HDMI信号を入力する端子です。HDMI信号はVer.1.3相当の信号を入力できます。

※信号の対応の詳細は62ページをご確認ください。

⑮D入力端子 (D IN,AUDIO L,R)

D端子（コンポーネント・ビデオ）の出力を持つ機器を接続する端子です。入力可能な映像信号の解像度は480i（60i）、480p（60p）、720p（60p）、1080i（60i）、1080p（60p）です。

音声はアナログのステレオ音声を入力可能です。

※480iは525i、480pは525p、720pは750p、1080iは1125i、1080pは1125pと記述されていることがあります。

⑯HDMI出力端子 (HDMI OUT)

HDMI信号を出力する端子です。

HDMI信号はVer.1.3相当の信号を出力できます。

DVI-Dの機器に接続されているときは、DVIの信号を出力します。

※対応解像度に関しては62ページをご確認ください。

※HDMI対応の表示装置に接続する場合は、「出力モード」を「HDMI」に設定してください。DVI対応の表示装置に接続する場合は、「出力モード」を「DVI」に設定してください。

リモコンまたはスクリーン・メニューから設定可能です（23ページ「重要：出力モードは正しく設定してください」を参照してください）。

⑰ USB 端子 (USB)

パソコンのUSB端子と接続できる端子です。

通常は使用しない端子ですので、何も接続しないでください。

本機のマイクロSDスロット (SD micro) にカードが刺さっているとき、USBケーブルで本機をパソコンに接続することで、SDカードリーダー/ライターとして動作します。

本機のファームウェア・アップデートの際に、パソコンでダウンロードしたデータを簡単にSDカードに書き込むために利用します。

ファームウェア・アップデートに関しては弊社Webページをご参照ください。

⑱ マイクロSDスロット (SDmicro)

ファームウェア・アップデートなどに使用するマイクロSD対応スロットです。通常はこのスロットに何も挿入しないでください。

ファームウェア・アップデートに関しては弊社Webページをご参照ください。

接続の前に

ここでは、本機をご利用になるための、接続手順を解説いたします。
24～25ページの手順を参考にして、映像機器や、本機、表示装置の接続を行ってください。

【接続の前に確認しましょう】

- HDMI映像を出力する機器の中には、出荷時の状態でHDMI信号の出力が「オフ (切)」になっていることがあり、映像や音声が出力されないことがあります。本機を接続する前に、HDMI信号の出力 (映像と音声) を「オン (入)」に設定してください。
- 現在、本体にACアダプターが接続されているときは、本体からACアダプターを取り外してください。
また、接続したい機器の電源は「オフ (切)」または「スタンバイ (待機)」にしてください。

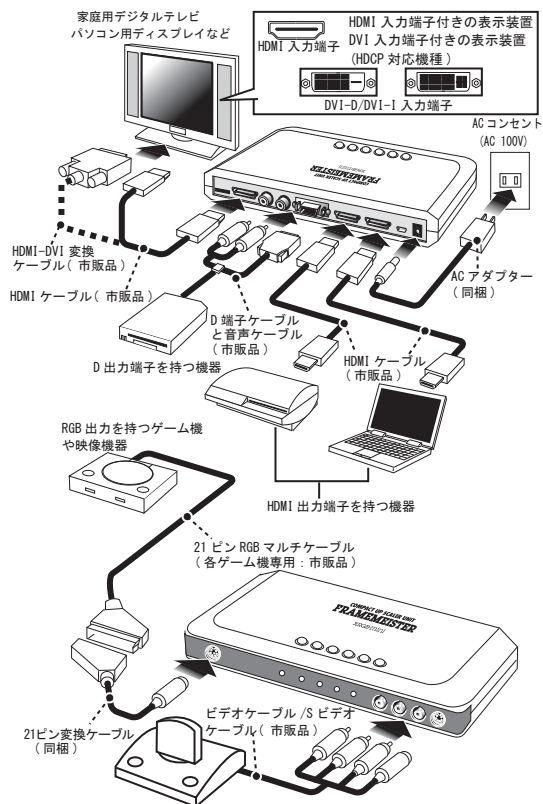
【重要：出力モードは正しく設定してください】

本機で正しい表示を行うために、接続後は必ず「出力モード (「HDMI」、または「DVI」)」を正しく設定してください。「出力モード」は本体のスクリーン・メニュー、またはリモコンの「出力モード (HDMIボタン/DVIボタン)」で設定できます。

表示装置のHDMI端子に接続時 → 出力モードを「HDMI」にする。
表示装置のDVI端子に接続時 → 出力モードを「DVI」にする。

これらの設定を間違えると、画面の表示が変色したり、画面が乱れる、表示されない、などの症状が発生します。

各機器との接続と表示



■接続手順

①市販の接続ケーブルを使用して、ビデオ、S、D端子、HDMI、RGBの各出力端子を持つ機器（ビデオ・レコーダーやゲーム機）を、本機の「入力端子」に接続します。

②市販のHDMIケーブルを使用して、HDMI入力端子を持つ表示装置（テレビやプロジェクターなどの表示装置）を、本機の「出力」に接続します。

※DVI-D入力を持つパソコン用ディスプレイなどに接続される際は、HDMI-DVI変換ケーブルなどを使用して接続してください。

③同梱のACアダプターを本体のDC入力端子（DC 5V）に接続し、ACアダプター側をACコンセント（100V）に接続して下さい。本体前面の「待機ランプ（STANDBYランプ）」が点灯します。

④接続が終わったら、本機またはリモコンの「電源ボタン（POWER）」を押して、電源を「オン（入）」にします。本体前面の「電源ランプ（POWERランプ）」が点灯します。

⑤本機のHDMI出力端子に接続している表示装置（テレビやディスプレイ、プロジェクター）の電源を「オン（入）」にします。接続している表示装置の入力チャンネルを、本機が接続されているチャンネルにします。本体前面の「出力リンクランプ（OUTPUT LINK）」が点灯します（画面が表示されるまでこのランプは何度か点滅することがあります）。画面には「青い映像」が表示され、入力信号が無い場合は「NO_INPUT」と表示されます。

⑥本機の入力端子に接続している機器の電源を「オン（入）」にします。

⑦本体の「入力選択ボタン（INPUTボタン）」またはリモコンの「入力選択（VIDEO、S、D、RGB、HDMI1/2）ボタン」を押して、表示したい機器の入力チャンネルを選択します。正しく映像が入力されていれば、本体前面の「入力ランプ（INPUTランプ）」が点灯します。

⑧本機の出力量を設定します。リモコンの「出力モード（HDMIまたはDVI）」を押して、出力モードを正しく設定して下さい。表示装置のHDMI入力端子に接続しているときは「HDMI」、DVI入力端子に接続しているときは「DVI」を選択します。

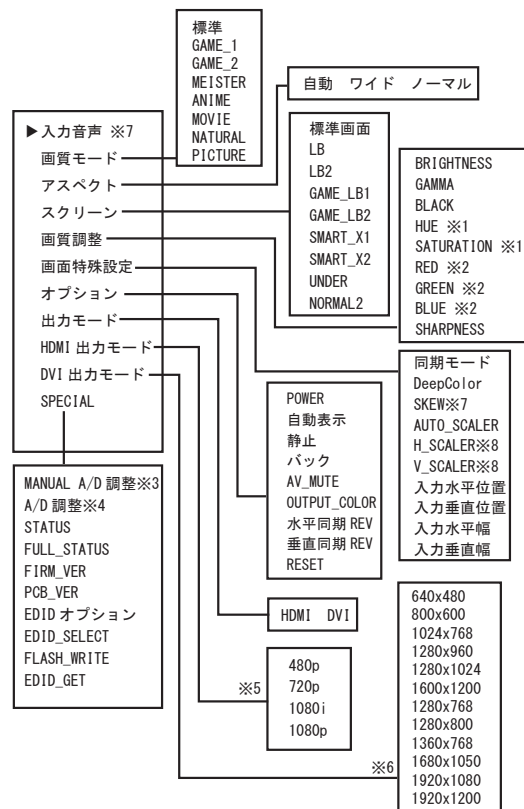
※「出力モード」の変更は、スクリーン・メニューでも設定可能。

⑨本機の出力量を、接続している表示装置に最適な解像度に合わせます。スクリーン・メニューを表示し、「HDMI出力モード」、または「DVI出力モード」からカーソルで最適な解像度を選択して、画面の表示が確認できたらカーソルで「OK」を選択し、リモコンか本体の「OKボタン」を押してください。

※間違えて解像度を選択してしまい、映像が表示されなくなったときは、カーソルを操作せず、そのまま「OKボタン」を押して（「中止」を選択して）解像度を元に戻してください。それでも表示がうまく行かない場合は、リモコンの「セーフティ・ボタン（機能は46ページ参照）」を2秒程度押してみてください。

スクリーン・メニューとその機能

本機のスクリーン・メニューには下記の機能があり、設定を変更したり、映像などを調整することが可能です。



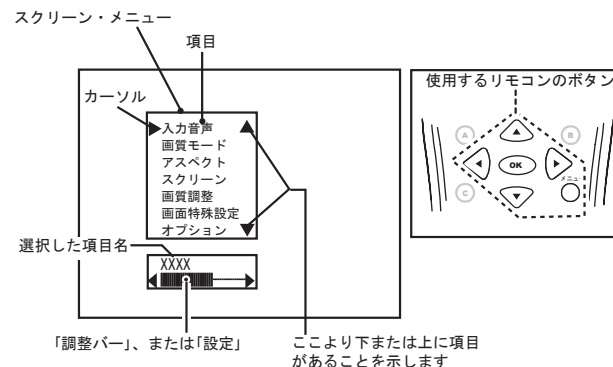
- ※1：本機の入力信号のカラーモードが「Y, P B, Pr(Y, Cb, Cr)」方式の時に使用できます。
 ※2：本機の入力信号のカラーモードが「RGB」方式の時に使用できます。
 ※3：「ビデオ」、「S」、「RGB」及び「HDMI」入力時、この項目はありません。
 ※4：「ビデオ」、「S」、「HDMI」入力の時、この項目はありません。
 ※5：「出力モード」の設定が「HDMI」の時に使用可能です。
 ※6：「出力モード」の設定が「DVI」の時に使用可能です。
 ※7：「HDMI」入力の時、この機能は使用できません。
 ※8：「AUTO_SCALER」が「オフ」の時に使用できます。

※ビデオ入力端子とS入力端子の設定は共通となります。

【スクリーン・メニューの各部名称と操作】

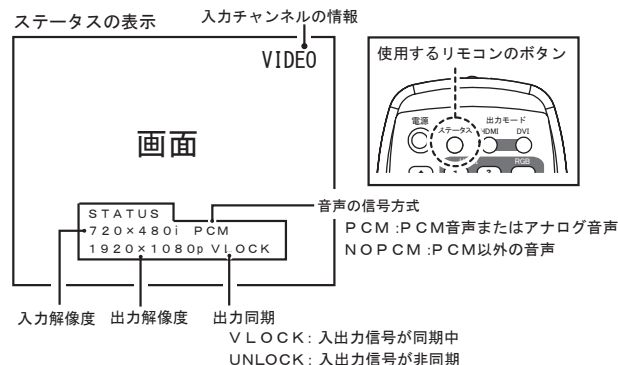
本体やリモコンの「メニュー・ボタン (MENU)」を押すことで、表示装置の画面に「スクリーン・メニュー」を表示することができます。スクリーン・メニューでは、様々な設定を行うことができます。

操作は、本体やリモコンの「メニュー (MENU)」、「▲」、「▼」、「◀」、「▶」、「OK」の各ボタンで操作します (リモコンの詳細機能は42ページ参照)。



【画面のステータスを表示する】

画面の情報を表示したい時は、リモコンの「ステータス」ボタンを押して下さい。現在画面がどのような解像度になっているかなど、簡単な情報を表示する事ができます。



■入力音声

入力されるアナログ音声のレベルを調整する機能です。

入力端子ごとにレベルを調整できます。機器の違いによる音声レベルを補正する機能としてご利用ください。

※HDMI入力時の調整はできません。

■画質モード

映像の質感や色合いを選択することができます。接続している機器やコンテンツに合わせてご利用ください。入力端子ごとに設定できます。

【標準】

出荷時の状態です。色合いなどは、特に特徴がありません。480i/1080iなどのインターレース映像は、動き適応型3D I/P処理を行います。

【GAME_1】

ゲームに向けた低遅延処理で映像を表示します。

480i/1080iなどのインターレース映像は2D I/P処理を行いますので、画面はちらつきますが、低遅延で処理されます。アクションゲームやシューティングゲーム、音楽ゲーム、スポーツゲームなど映像が遅延しては困るゲームに向いています。

【GAME_2】

ゲームに向けた低遅延処理で映像を表示します。機能はGAME1とはほぼ同じですが、「ANIME」の様な色あいで表現します。

【MEISTER】

GAME1と同様に2D I/P変換により低遅延の映像処理を行います。ただし、MEISTERでは、特定の解像度の映像に擬似的な走査線を表示します。

出力映像に対し、黒い横線を挿入することで、低い画質を再現しオールドゲームの質感を実現します。

※本機能は、入力映像の垂直解像度が出力映像の垂直解像度より低い場合のみ使用できます。

※入力または出力の解像度が1080iの時は本機能を使用できません。

※入力の解像度が480iで、出力の解像度が480pまたは640×480ドットの時は本機能を使用できません。

※本機や表示装置の、画面の比率調整やスケーリング処理などにより、映像にモワレが発生したり、質感を損ねる場合があります。また、本機の出力解像度によっても画面の質感が変化します。

【MOVIE】

映画などの映像に適した色合いと質感を表現するモードです。480i/1080iなどのインターレース映像は、動き適応型3D I/P処理を行います。画面にフィルムのようなノイズ感を追加しています。

【ANIME】

色を強調するモードです。原色（赤、青、緑）や、パステル調の色などを強調します。メリハリのある表現が可能なので、アニメなどの表示に適しています。480i/1080iなどのインターレース映像は、動き適応型3D I/P処理を行います。

【NATURAL】

自然の風景など、ピュアな映像に適した色合いと質感を表現するモードです。480i/1080iなどのインターレース映像は、動き適応型3D I/P処理を行います。

【PICTURE】

静止画など、動きが無い映像に適したモードです。

静止画の表示は鮮明ですが、動画の表示には向きません。インターレース映像は、3D I/P処理（動き適応型ではない）を行います。動き補正が行われないため、480iや1080iなど、インターレース方式の入力映像で動画を表示すると、動きのある部分が「くし形」に表示されてしまいます。

■アスペクト

入力される映像に合わせてアスペクト（画面比率）を選択する事が可能です。

「自動」は映像に含まれるVBI信号や情報を元に自動的に「ワイド」と「ノーマル」を認識します。

「ワイド」は強制的に16：9で表示します。

「ノーマル」は強制的に4：3で表示します。入力端子別に設定が可能です。

■スクリーン

スクリーンは、映像コンテンツに合わせて、表示状態を変更する機能（アスペクトとは違う機能）です。表示する映像や機器に合わせて使用してください。入力端子別に設定が可能です。

【標準画面】

スクリーンで表示された表示モードを終了し、「アスペクト」で設定された画面比率の表示（自動、ワイド、ノーマル）に戻ることができるボタンです。

【LB】

ビデオ・コンテンツのレターボックス映像（4：3の映像ソースで画面中央に額縁表示される映像）をワイドテレビなどに拡大して表示する機能です。この機能の画面の表示領域は家庭用ワイドテレビの「フル（またはワイド）」表示に合わせていますので、テレビの設定（画面モード）もこれに合わせてください。家庭用テレビはオーバースキャンなので、映像がテレビの表示領域に収まるよう、LB2よりも若干画面が小さくなるように調整されています。この機能を使用しているときは、アスペクトの設定は反映されません。なお画面の形状がノーマルの表示装置（本機の出力モードが「DVI」で4：3や5：4の解像度）では「標準画面」と同じになるため効果はありません。LB表示を終了するには「標準画面」を選択してください。

※入力解像度が1080p、または出力解像度が1080p以上の時、「LB」の効果は画面に反映されません。

【LB2】

「LB」と同じ機能ですが、画面の表示領域をパソコン用ディスプレイ（アンダースキャンの表示装置）に合わせています。

※入力解像度が1080p、または出力解像度が1080p以上の時、「LB2」の効果は画面に反映されません。

【GAME_LB】

ポータブル・ゲーム機のレターボックス映像を画面に拡大して表示する機能です。画面の中央に額縁表示される映像を画面一杯に表示します。この機能の画面の表示領域は家庭用テレビの「フル（またはワイド）」表示に合わせていますので、テレビの設定（画面モード）もこれに合わせてください。家庭用テレビはオーバースキャンなので、GAME_LB2よりも若干画面が小さくなるように調整されています。この機能を使用しているときは、アスペクトの設定は反映されません。

ポータブル・ゲーム機の映像出力設定は必ず16：9（ワイド）に

設定してください。

GAME_LB表示を終了するには「標準画面」を選択してください。

【GAME_LB2】

「GAME_LB」と同じ機能ですが、画面の表示領域をパソコン用ディスプレイ（アンダースキャンの表示装置）に合わせています。

【スマートx1】

表示している画面解像度（出力解像度）より入力解像度が低い時は映像を整数倍で表示します。ジャギーの少ない映像を得ることができます。なお、これらの映像が現在本機が出力しているドット数よりも高くなってしまう場合は、通常の表示と同様にスケーリングして表示されます。この表示を終了するには「標準画面」を選択してください。

【スマートx2】

基本的にはスマートx1と同じ機能ですが、スマートx1の映像に対して垂直と水平2倍のドットで表示します。なお、これらの映像が、現在本機が出力している解像度のドット数よりも高い場合は、通常の表示と同様にスケーリングして表示されます。スマートx2の表示を終了するには「標準画面」を選択してください

【アンダー】

映像をアンダースキャン表示します。主に家庭用テレビに接続した際に使用します。家庭用テレビはオーバースキャン方式の表示なので、画面全体を縮小させ、擬似的にアンダー・スキャン（画面からはみ出す部分も表示する）を実現します。この機能はオーバースキャンの特性を持つ家庭用テレビ向けの機能です。

この機能を使用した状態で、アスペクトの「ワイド」、「ノーマル」を変更すると表示アスペクトを変更できます。アンダーの表示を終了するには「標準画面」を選択してください。

※テレビの機種やメーカー、および解像度によってオーバースキャン率が異なるため、必ずしも映像がテレビの画面内に表示できるとは限りません。

※パソコン用ディスプレイは元々アンダースキャンなので、画面が少し小さく表示されるだけです。

※入力信号が1080p解像度の時「アンダー」の設定は画面に反映されません。

【ノーマル2】

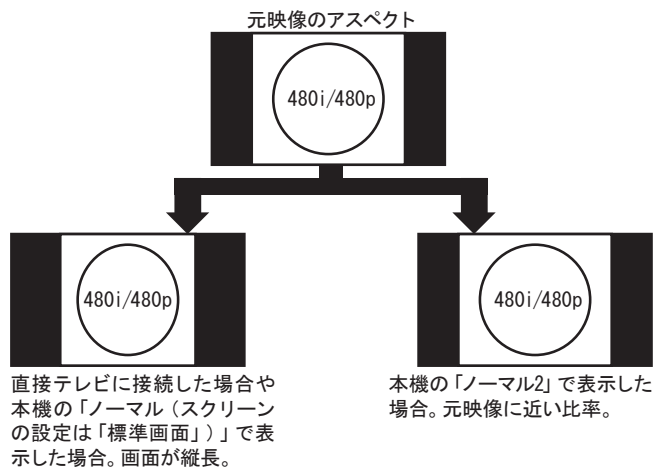
アナログテレビの画面比率は4：3であり、旧型ゲームの映像やアナログ放送の映像は640x480に近い比率でコンテンツが作成されています。それらを正常表示するために液晶テレビもアスペクトが4：3で正しい表示になるよう調整されています。

しかし、D端子やHDMIの規格では、480iや480pの画面解像度は720x480です。これは4：3ではありません。

このため、480iや480pの規格で作成されたコンテンツ（720x480ドットでドット比1：1で作成したコンテンツ）は、そのまま液晶テレビなどで表示すると画面が縦長（円が楕円になる）に表示されます。「ノーマル2」では、こういった縦長の表示を改善することができます。

効果が期待できるのは480iと480pの入力信号のみです。

ノーマル2の表示を終了するには「標準画面」を選択してください。



※「ノーマル2」を使用すると240p/720p/1080i/1080p入力は画面の比率がおかしくなってしまうため、これらの解像度での使用はお勧めできません。
 ※入力信号が1080p解像度の時「ノーマル2」の設定は画面に反映されません。
 ※「ノーマル2」使用時はアスペクトの設定を「ノーマル」にしてください。

■画質調整

画質調整内の下記機能は、画面の色合いや明るさ、鮮明度などを調整する機能です。これらの設定は入力端子ごとに調整可能です。本体、またはリモコンの「◀」、「▶」ボタンで操作します。

●BRIGHTNESS（ブライトネス）

映像の明るさを調整することができます。

●GAMMA（ガンマ）

映像の薄暗い部分を明るく調整することができます。

●BLACK（ブラック）

映像の黒レベルの調整を行います。

●HUE（ヒュー）

映像の色合いの調整を行います。

HDMI端子の表示装置に接続され、入力の色モードが「Y、PB、PR（Y、CB、CR）」の時に使用できます。

●SATURATION（サチュレーション）

映像の色の濃さの調整を行います。

入力の色モードが「Y、PB、PR（Y、CB、CR）」の時に使用できます。

●RED（レッド）

映像の赤のレベルの調整を行います。

入力の色モードが「RGB」の時に使用できます。

●GREEN（グリーン）

映像の緑のレベルの調整を行います。

入力の色モードが「RGB」の時に使用できます。

●BLUE（ブルー）

映像の青のレベルの調整を行います。

入力の色モードが「RGB」の時に使用できます。

●SHARPNESS（シャープネス）

映像の鮮明度を調整する機能です。

■画面特殊設定

下記機能により映像の特殊な設定を行うことができます。

●同期モード

映像信号の入力と出力の同期を選択できます（映像の遅延とは必ずしも関係ありません）。通常は「自動」で使用してください。映像信号が同期していると、映像のフレーム飛びや欠落が無く、スムーズな画面スクロール（パン）が可能です。映像信号が同期していないと、フレーム飛びや欠落が発生し、スムーズな画面スクロール（パン）がガタついたりすることがあります。

[オフ] = 入出力を同期しません。強制的に出力同期で映像を表示します。映像規格から外れた信号を出力する機器で、画面が映らない場合に選択します。

[自動] = 入力信号に同期可能な信号は、同期して映像を出力します。通常は「自動」に設定してください。

※リモコンの「セーフティ」ボタンを押すと「同期モード」が強制的に「オフ」になるため、「セーフティ」機能使用後は設定を「自動」に戻すことをお勧めします。

●DeepColor（ディープ・カラー）

HDMI端子付きのテレビに表示した場合で、テレビがDeepColorに対応している場合に使用します。

通常は「オフ」でご利用ください。

[オフ] = DeepColorを使用しません。DVI端子に接続している場合や、HDMIでもDeepColorに対応していない表示装置に接続している場合は「オフ」で使用します。

[自動] = DeepColorに対応した表示装置に接続されている場合は、DeepColorで動作します。対応していない場合は「オフ」で動作します。ただし、「自動」は正しくDeepColorの対応機器を認識できない場合もあるのでご注意ください。自動で認識できない場合は画面の表示がおかしくなるか、映像が全く表示されなくなる場合があります。

※画面が表示されなくなってしまった場合はリモコンの、セーフティ・ボタンを2秒以上押すことで、DeepColor等の設定を「オフ」に戻すことができます（詳しくは46ページ参照）。

●SKEW（スキュー）

アナログ映像をデジタルにサンプリング（A/D変換）する際、ドットを取り込む位置を調整することができます。

画面に水平方向のノイズが発生する場合や、水平方向に映像（縦線など）が揺れる場合に調整すると、症状が改善される場合があります。

●AUTO_SCALER（オート・スケーラー）

画面のスケーリング品質を自動で設定します。この設定は入力端子別に設定が可能です。

[手動] = スケーリング設定を手動で調整できます。

「H_SCALER」と「V_SCALER」を使用できるようになります。

[ゲーム] = ゲーム向けのスケーラー設定を入出力の解像度の組み合わせで自動選択します。ゲーム向けの少しシャープなスケーリングに設定されています。

[ビデオ] = ビデオ機器向けのスケーラー設定を入出力の解像度の組み合わせで自動選択します。柔らかい質感のスケーリングに設定されています。

●H_SCALER（エッチ・スケーラー）

「AUTO_SCALER」が「手動」の時に使用できます。

画面の水平方向（横方向）のスケーリングを設定できます。最適な位置を選択してください。画面のスケーリング品質は入力端子別、解像度別に設定が可能です。

●V_SCALER（バイ・スケーラー）

「AUTO_SCALER」が「手動」の時に使用できます。

画面の垂直方向（縦方向）のスケーリングを設定できます。最適な位置を選択してください。画面のスケーリング品質は入力端子別、解像度別に設定が可能です。

※スケーラーに関する設定は、本機への入力と、本機からの出力が同じ解像度（同じドット数の場合）で、スケーリングを行っていないときは画面に反映されません。ただし「入力水平幅」と「入力垂直幅」の設定変更、及び「スクリーン」の各機能の使用、「アスペクト」の変更はスケーリングと見なされるので、スケーラーに関する設定が画面に反映され、画面が急にぼやけて見えたりすることがあります。

●入力水平位置

入力映像の水平方向（横）の位置を調整できます。

画面の右端や左端が欠ける場合に調整してください。なお、この機能を調整する度に画面が点滅し、設定が画面に反映されます。調整すると画面が乱れたり、映らなくなる場合もありますのでご注意ください。

※この機能は特殊な機能なので、できるだけ操作しないでください。

●入力垂直位置

入力映像の垂直方向（縦）の位置を調整できます。

画面の上部や下部が欠ける場合に調整してください。なお、この機能を調整する度に画面が点滅し、設定が画面に反映されます。調整すると画面が乱れたり、映らなくなる場合もありますのでご注意ください。

※この機能は特殊な機能なので、できるだけ操作しないでください。

●入力水平幅

入力映像の水平方向（横）の幅を調整できます。

映像の表示幅を調整したいときに操作してください。

なお、この機能を調整する度に画面が点滅し、設定が画面に反映されます。調整すると画面が乱れたり、映らなくなる場合がありますのでご注意ください。

※この機能は特殊な機能なので、できるだけ操作しないでください。

●入力垂直幅

入力映像の垂直方向（縦）の幅を調整できます。

映像の表示幅を調整したいときに操作してください。

なお、この機能を調整する度に画面が点滅し、設定が画面に反映されます。調整すると画面が乱れたり、映らなくなる場合がありますのでご注意ください。

※この機能は特殊な機能なので、できるだけ操作しないでください。

■オプション

下記ではスクリーン・メニュー内の「オプション」の機能を解説します。

●POWER（パワー）

電源の設定を選択することができます。

[STANDBY] = 本機にACアダプターを接続したとき、待機状態になります。また、本体やリモコンの「電源（POWER）」ボタンを使用して電源の「オン（入）」/「スタンバイ（待機）」操作ができます。

[ON] = 本機にACアダプターを接続したとき、常に電源が「オン（入）」になります。本体やリモコンの「電源（POWER）」ボタンは使用できません。

※設定が[ON]の時はスクリーン・メニューの設定やチャンネル変更を記憶することができません。設定やチャンネル変更を記憶させたい場合は、一旦[STANDBY]の設定に戻してください。

●自動表示

画面に自動で表示されるメッセージ（OSD）を表示しない様にする機能です。

チャンネルを変更した時などに表示される画面のメッセージを表示しないようにします。

[オフ] = 自動のメッセージを表示しません。

[オン] = 自動のメッセージを表示します。

●静止

画面を静止（フリーズ）させる機能です。

[オフ] = 画面を静止しません。または画面の静止を解除します。

[オン] = 画面を静止します。

※「静止」は、本機の操作を行うと、自動的に終了する場合があります。

●バック

映像が入力されていないときの画面の色（ブルーバック）を変更することができます。

[BLACK] = 画面の色を「黒」にします。

[BLUE] = 画面の色を「青」にします。

●AV_MUTE（エービー・ミュート）

表示されている画面を真っ黒にして、音声の出力を一時的に停止させる機能です。

【オフ】＝AV_MUTEを使用しません。

【オン】＝AV_MUTEを使用します。

※AV_MUTEは本機の操作を行うと、自動的に終了する場合があります。

●OUTPUT_COLOR（出力カラー）

本機から出力される映像のカラーモードを選択できます。通常は「自動」で使用するをお勧めします。

「RGB」＝出力のカラーモードを「RGB」固定にします。画面がピンク色になるなどの症状が発生するときに選択します。

「自動」＝出力のカラーモードを「RGB」または「Y、PB、PR（Y、CB、CR）」の自動選択にします。

※本設定は「HDMI出力モード」使用時のみ効果があります。

※OUTPUT_COLORの設定を変更した後は、必ず本機を再起動してください。再起動しないと設定が反映されません。

●水平同期REV

水平同期信号の極性を操作することができます。

【オフ】＝標準の設定です。

【オン】＝同期信号の極性を反転します。

●垂直同期REV

垂直同期信号の極性を操作することができます。

【オフ】＝標準の設定です。

【オン】＝同期信号の極性を反転します。

●RESET（リセット）

設定された内容やチャンネル設定、出力解像度、出力モードをすべて初期化し、工場出荷時の設定に戻すことができます。

【中止】＝リセットを中止します。

【OK】＝リセット（初期化）を実行します。

※リセットすると出力モードは「HDMI」になりますので、DVI端子の表示装置に接続しているときは、出力モードを「DVI」に設定する必要があります。出力モードの再設定を行わないと画面の色がおかしくなったり、映像を表示できない場合があります。

■出力モード

本機の出力モードを選択することができます。

【HDMI】＝本機を表示装置のHDMI入力端子に接続している時に選択してください。

【DVI】＝本機を表示装置のDVI入力端子に接続している時に選択してください。

※工場出荷時の設定は「HDMI」です。

■HDMI出力モード

HDMIモード時の出力解像度を設定できます。

すべてワイド解像度（16：9）の表示装置に接続することを前提にしています。解像度は下記の物があります。

ご利用の表示装置の解像度に合わせて選択してください。できるだけ表示装置のパネル解像度と同等の解像度（最適解像度）を選択した方が、極力テレビ側のスケーリングに頼らない映像を得ることができます。

なお、解像度はすべてHDMI用のビデオ解像度です。

工場出荷時の設定は「480p」です。

【480p】＝ 480p（525p）プログレッシブで出力します。

【720p】＝ 720p（750p）プログレッシブで出力します。

【1080i】＝ 1080i（1125i）インターレースで出力します。

【1080p】＝ 1080p（1125p）プログレッシブで出力します。

※HDMI出力モードはHDMI端子付きの表示装置に対応した物です。DVI端子の表示装置での動作は保証いたしかねます。

※ご利用の表示装置の解像度より高い解像度を設定すると、映像が表示できなくなる場合がありますのでご注意ください。

※テレビの表示設定（画面モード設定）の機能があるときは、それらを「フル（またはワイド）」に設定することをお勧めします。

※設定を間違えて映像が表示されなくなった時は、本書の最終ページ（裏表紙）をご覧ください。

■ DVI出力モード

DVIモード時の出力解像度を設定できます。DVI端子で表示装置に接続する際に使用します。解像度は下記の物があります。

必ずご利用の表示装置の解像度に合わせて設定してください。なお、解像度はすべてDVI用のパソコン解像度で、ノンインターレース（プログレッシブ）です。工場出荷時の設定は「1024×768」です。

[640 × 480]	[1280 × 768]
[800 × 600]	[1280 × 800]
[1024 × 768]	[1360 × 768]
[1280 × 960]	[1680 × 1050]
[1280 × 1024]	[1920 × 1080]
[1600 × 1200]	[1920 × 1200]

※ご利用の表示装置の解像度より高い解像度を設定すると、映像が表示できなくなる場合がありますのでご注意ください。

※DVI出力モードはDVI端子付きのディスプレイに対応した物です。HDMI端子の表示装置での動作は保証いたしかねます。

※設定を間違えて映像が表示されなくなった時は、本書の最終ページ（裏表紙）をご覧ください。

※1920×1200ドットと1600×1200ドットの出力解像度では画面の表示に制限があります。詳しくは55ページをご覧ください。

■ SPECIAL

SPECIALには普段使用しない特殊な機能があります。

● STATUS

画面に入力信号の状態と出力信号の状態を表示できます。

● FULL_STATUS

「STATUS」よりも詳しい情報を表示することができます（表示可能な情報は4ページ分あり、カーソル・ボタンの「◀」、「▶」で表示内容を変更できます）。

PAGE 1 = 主に入力の情報を表示します。

PAGE 2 = 主に出力の情報を表示します。

PAGE 3 = 主に同期のロックや映像遅延（DELAY）の情報を表示します。

PAGE 4 = 主にファームウェアの情報を表示します。

※「PAGE 3」に表示される映像遅延（DELAY）の情報は、プルダウン時の遅延を含みませんので、あくまでも目安です。

（例：24p→60pプルダウン時の正確な遅延は、本機では測定できません）

● FIRM_VER

ファームウェアのバージョン情報を表示します。

● PCB_VER

基板のバージョンを表示します。

● EDID オプション

通常は「自動」の設定でご利用下さい。

表示が安定しないなどの場合、本設定を変更してください。設定変更後は必ず再起動が必要です。

「自動」: HDMI端子付きの表示装置やHDCP対応のディスプレイで、特に表示に問題がないときは「自動」でご利用ください。なお、HDCP未対応のDVI端子付きのディスプレイなどに接続している場合は必ず「自動」設定にしてください。

「HDMI」: 本機の入力チャンネルを操作したり、入力信号に変化があった後で映像が乱れたり、表示されなくなる、音声しか出力されなくなるなど、動作が安定しない症状が頻繁に発生する場合は、設定を「HDMI」に設定してください。症状が改善される場合があります。

※設定を変更すると、映像がまったく表示されなくなることがあるのでご注意ください。

※本設定を変更しても「HDCP」に対応していない表示装置に「HDCP」が含まれる映像を表示させることはできません。本機能はHDCPに対応した表示装置で表示動作を安定させる機能です。

● EDID_SELECT

通常は「自動」の設定でご利用ください。HDMI入力を持つ表示装置を接続した際「自動」の設定で、どうしても映像が表示できないときは、「INTERNAL」に設定してください。また、1080iや720pまでしか表示できないHDMI端子付きの表示装置に1080p映像を表示したとき「INTERNAL」を選択します。設定変更後は本機と本機に接続されているHDMI機器を必ず再起動してください。

● CPU_UPDATE

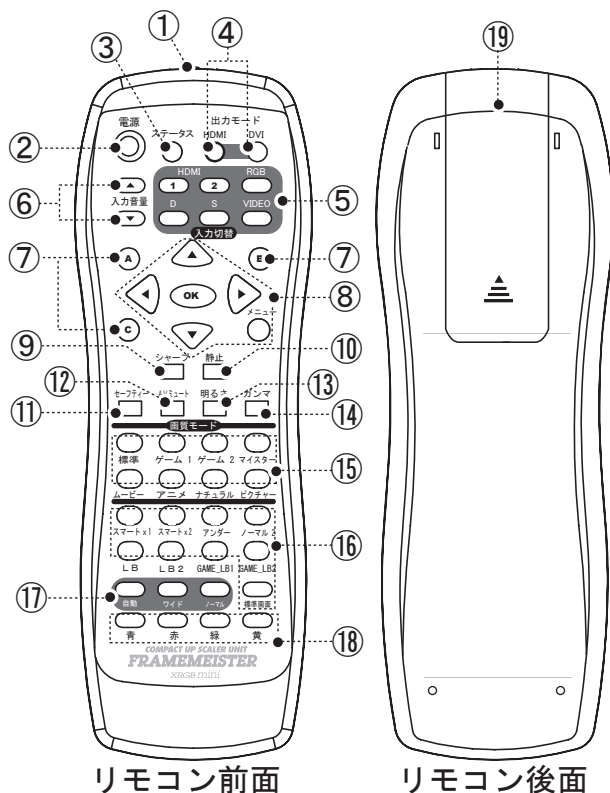
● FLASH_WRITE

● EDID_GET

これらの機能は現在使用しません。弊社より指示があった場合に使用します。操作しないでください。

リモコンの機能と操作

本機にはリモコンが同梱されており、お手元で本機の入力チャンネルなどを操作できます。



①赤外線発信部

リモコンの信号を発信する部分です。
この部分を本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

②電源ボタン

本体の電源を操作するボタンです。本体の電源が「スタンバイ（待機）」の時に押すと、電源を「オン（入）」にすることができます。本体の電源が「オン（入）」の時に押すと、電源を「スタンバイ（待機）」にすることができます。

なお、スクリーン・メニューの「POWER」の設定が「オン」の時は、このボタンを押しても電源を「スタンバイ（待機）」にすることはできません。

※電源ボタンは間違った動作を防ぐため、ボタンを少し長めに押す仕様になっています。

③ステータス・ボタン

画面に現在の状態（現在使用している入力チャンネル、入力解像度、出力解像度）を画面に表示します。

④出力モード・ボタン（HDMIボタン、DVIボタン）

出力モードを「HDMIモード」、または「DVIモード」に切り替えるボタンです。

本機をHDMI端子付きの表示装置に接続しているときは「HDMI」のボタンを押してください。このボタンを押すことで本機を「HDMIモード」にすることができます。

本機をDVI端子付きの表示装置に接続しているときは「DVI」のボタンを押してください。このボタンを押すことで本機を「DVIモード」にすることができます。

「HDMIモード」と「DVIモード」は一度設定するとメモリーに記憶されますので、これらのボタンは初めて本機を接続された時や、テレビやディスプレイの接続を変更したときに操作します。

- ・ HDMIボタン=>HDMI端子付きテレビの時に操作
- ・ DVIボタン =>DVI端子付きディスプレイの時に操作

※このボタンの操作を間違えると、画面が変色する（ピンクや緑色になる）、または映らない、といった症状が発生しますのでご注意ください。

※本機を「DVIモード」で使用するときは、必ず「DeepColor」の設定を「オフ」にしてください。「DeepColor」の設定が「自動」になっていると、画面が変色するなど、表示がおかしくなります。

⑤入力切替ボタン（ビデオ、S、D、RGB、HDMI 1 / 2）

「入力切替」の各ボタンを押すことで、入力チャンネルを選択することができます。

[ビデオ]：ビデオ入力端子を選択します。

※音声はSビデオ入力と共通です。

[S]：S入力端子を選択します。

※音声はビデオ入力と共通です。

[D]：D入力端子を選択します。

[RGB]：RGB入力端子を選択します。

[HDMI]：[1]HDMI1の入力端子を選択します。

[2]HDMI2の入力端子を選択します。

⑥入力音量ボタン（▲、▼）

アナログ音声（ビデオ/S入力、D端子入力、RGB入力）の入力音声の音量を調整することができます。機器によって異なる音量をできるだけ統一したいとき使用します。

[▲]ボタン：音量を大きくします。

[▼]ボタン：音量を小さくします。

※HDMI入力時の音量は調整できません。

⑦リザーブ（A、B、C）

現在このボタンに機能はありません。今後のファームウェアのアップデートなどで機能を追加するためのボタンです。

⑧メニュー操作ボタン（メニュー、▲、◀、▼、▶、OK）

スクリーン・メニューを操作するためのボタンです。

[メニュー]：画面にスクリーン・メニューを表示したり、終了したりするためのボタンです。深い階層のスクリーン・メニューが表示されているときは上の階層に戻ることができます。また、操作中の設定内容をキャンセルするボタンとしても使用できます。

※リモコンの各ボタンからダイレクトで表示されるメニューの設定内容はキャンセルできません。

[▲]：メニュー上のカーソルを上方向に操作することができます。

[◀]：各設定項目のカーソルや調整バーを左方向に操作することができます。

[▼]：メニュー上のカーソルを下方向に操作することができます。

[▶]：各設定項目のカーソルや調整バーを右方向に操作することができます。

[OK]：メニュー上の項目を選択したり、各設定内容を決定するボタンです。下の階層にメニューがある場合は、下の階層を表示します。

⑨シャープ・ボタン

画面の鮮明度を調整する機能です。

このボタンを押すと画面に「SHARPNESS」という調整バーが表示されますのでカーソル・ボタン「◀」、「▶」を使用して、鮮明度を調整してください。

⑩静止ボタン

画面を静止（フリーズ）させるボタンです。

このボタンを押すと、「静止（キャンセル/OK）」が表示されますので、「OK」を選択すると、画面を静止させることができます。

もう一度このボタンを押して「キャンセル」を選択すると静止を解除することができます。

⑪セーフティー・ボタン

万一画面が映らなくなってしまったとき、このボタンを「長押し（2秒程度）」することで、本機の出力モードや解像度を初期状態に戻し、映りやすくします。リセットではありません。

解像度 = HDMIモードの時：「480p」になります。
DVIモードの時：「1024×768」になります。
DeepColor = 「オフ」になります。
同期モード = 「オフ」になります。

※快適なゲームプレイのため、「同期モード」は、「自動」に戻してください。

⑫AVミュート・ボタン

映像と音声を一時的に出力しないようにします。
音声は出力されず、画面は「真っ黒」になります。

このボタンを押すと、画面に「AV_MUTE（キャンセル/OK）」が表示されますので、「OK」を選択すると、AVミュート機能が働きます。もう一度このボタンを押して「キャンセル」を選択するとAVミュートを解除することができます。なお、映像が入力されていないときは使用しても機能しません。

⑬明るさ調整ボタン

画面の明るさを調整する機能です。

このボタンを押すと画面に「BRIGHTNESS」という調整バーが表示されますのでカーソル・ボタン「◀」、「▶」を使用して、明るさのレベルを調整してください。

⑭ガンマ調整ボタン

画面のガンマを調整する機能です。ガンマとは、画面の暗い部分を明るく調整する機能です。

このボタンを押すと画面に「GAMMA」という調整バーが表示されますのでカーソル・ボタン「◀」、「▶」を使用して、ガンマのレベルを調整してください。

⑮画質モード・ボタン

映像の質感や色合いを選択することができます。接続している機器やコンテンツに合わせて使い分けてください。

各機能の詳細についてはスクリーン・メニューの「画質モード（P28～P29）」をご覧ください。

標準 = 28ページ参照
GAME1 = 28ページ参照（「GAME_1」と同じ機能です）
GAME2 = 28ページ参照（「GAME_2」と同じ機能です）
マイスター = 28ページ参照（「MEISTER」と同じ機能です）
ムービー = 29ページ参照（「MOVIE」と同じ機能です）
アニメ = 29ページ参照（「ANIME」と同じ機能です）
ナチュラル = 29ページ参照（「NATURAL」と同じ機能です）
ピクチャー = 29ページ参照（「PICTURE」と同じ機能です）

⑯スクリーン・ボタン

スクリーン・ボタンは、映像コンテンツに合わせて、表示状態を変更する機能（アスペクトとは異なる機能）です。表示する映像や機器に合わせて使用してください。入力端子別に設定が可能です（ビデオとSは共通）。

各機能の詳細についてはスクリーン・メニューの「スクリーン（P30～P31）」をご覧ください。

スマートx1 = 31ページ参照（「SMARTx1」と同じ機能です）
スマートx2 = 31ページ参照（「SMARTx2」と同じ機能です）
アンダー = 31ページ参照（「UNDER」と同じ機能です）
ノーマル2 = 32ページ参照（「NORMAL2」と同じ機能です）
LB = 30ページ参照
LB2 = 30ページ参照
GAME_LB = 30ページ参照
GAME_LB2 = 31ページ参照
標準画面 = 30ページ参照

※「標準画面」のボタンを押すことで、スクリーンの表示を終了することができます。

⑰アスペクト・ボタン

画面の比率を選択する機能です。

[自動]：映像信号に含まれるアスペクト（ワイド/ノーマル）の識別信号を認識して画面の比率を自動で認識します。ビデオ、S、D端子の場合はVBI信号、HDMIの場合は信号に含まれるアスペクトの識別情報を見て判断します。機器や信号によっては自動で識別できない場合もあります。

[ワイド]：画面のアスペクトを強制的にワイド（16：9）に設定します。

[ノーマル]：画面のアスペクトを強制的にノーマル（4：3）に設定します。

⑱赤・青・緑・黄ボタン

現在このボタンに機能はありません。今後のファームウェアのアップデートなどで機能を追加するためのボタンです。

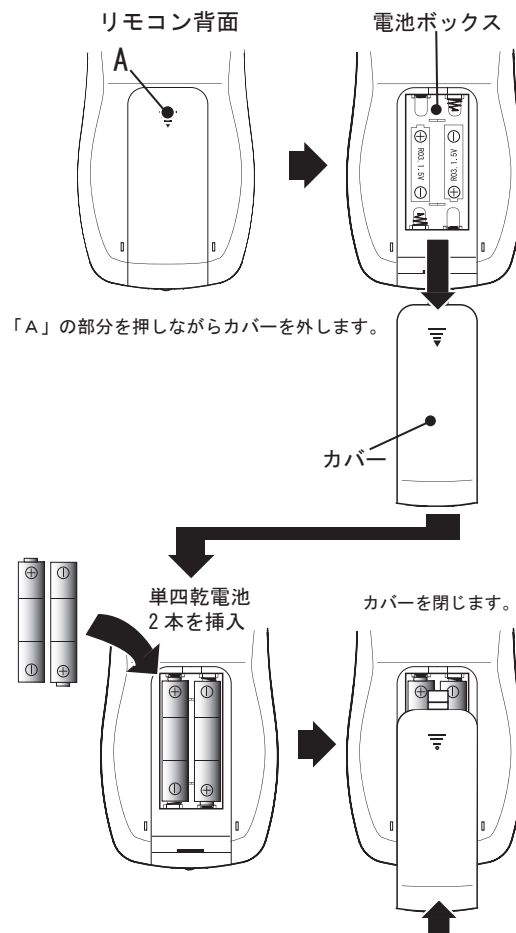
⑲電池ボックス

電池を入れる部分です。乾電池の挿入方法は49ページ参照。

単4型乾電池（マンガン、またはアルカリ）2本を挿入することができます。挿入時、電池の極性（+、-）を間違えないようご注意ください。

はじめてリモコンを使用するとき

初めてリモコンを使用するときは、リモコンに電池を挿入し、利用できる状態にしてください。



※使用済みの電池は正しく処分してください。
 ※電池は、お子様の誤飲にご注意ください。リモコンや電池はお子様の手の届かない場所に保管してください。小さなお子様がおられる方は特に注意が必要です。

接続の際の制限事項（知っておきたいこと）

■入力切替えの操作をしたり、入力信号の解像度が変化すると画面が点滅したり、数秒間映像と音声が入断してしまう

本機では、入力チャンネルが切り替わったり、解像度が変更されると、映像信号が入断されるため、本機とテレビがそれらの動作に反応し、画面がや音声が入断するなどの症状が発生します。接続している機器の機種や種類によっては、数秒間画面が表示されない場合があります。

■HDMIケーブル接続時にできるだけしない方がよいこと

HDMIケーブルで機器を接続しているときは、各機器が「電源オン（入）」の時にHDMIケーブルを挿抜しないようにしてください。ケーブルを挿抜してしまった場合は、映像や音声が入断されなかったり、解像度情報を認識しないことがあります。このような症状が発生したときは、本機や接続している機器の電源を一旦再起動する必要があります。

HDMIにはホットプラグという機構が内蔵されており、起動時に挿抜しても動作や安全性に問題はありませんが、機器の安定動作のため、ケーブルの挿抜は各機器の「電源をオフ（切）」にしてから行うことを推奨します。なお、やむをえず本機の電源を切らずにHDMIケーブルを挿抜した場合は、本機や接続した機器を再起動するなどして、映像や音声の解像度情報（EDID情報）を再認識させる様にしてください。

■「スクリーン」の各機能に対応しない解像度

「スクリーン」の各機能は、映像入力の解像度がビデオ解像度（240p, 480i, 480p, 720p, 1080i, 1080p）でご利用いただく機能です。このため、HDMI入力端子からパソコン解像度（例えば1024×768ドットなど）の映像を入力した際、正常に表示できないことがあります。

また、入力映像が1080pの時は、スクリーンの特定の機能を使用できません。

■すべての映像が本機の出力解像度に変換されます

本機には映像のパススルー（映像信号を何の調整無くそのまま出力すること）という概念がありません。

本機からの出力解像度は、すべて本機で設定された解像度（HDMI出力モードやDVI出力モードで設定された解像度）で出力されます。これはHDMI端子から入力された信号（HDMIのパソコン映像やHDMIのゲーム映像）も同様です。

■映像の遅延に関して

本機には低遅延で映像を処理するスケーラーが内蔵されております。

しかし下記の場合、映像が1～数フレーム遅延する場合があります、本機の特性である低遅延の効果を期待できない場合があります。

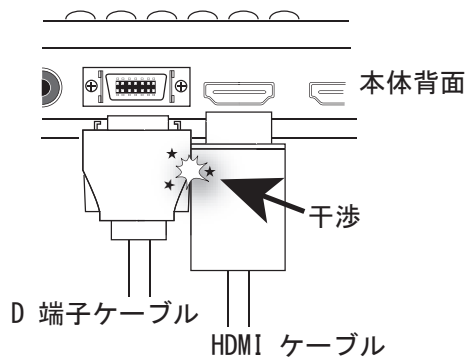
- 1:本機への入力がインターレース（480i/1080i）で、「画質モード」が3D動き適応型I/P変換を利用しているモード（標準、MOVIE、ANIME、NATURAL）の場合は、映像の動き補正処理のため、前後のフレームを比較するため、1フレーム程度の遅延が発生します。
- 2:本機からの出力がインターレース（1080i）の場合（57ページ参照）。
- 3:上記、「1」と「2」を組み合わせた動作の場合。
- 4:24p映像を60pや60iに変換した場合。
- 5:入力信号と出力信号が同期（V_LOCK）できない場合。
- 6:本機の「出力同期」の設定が「オフ」の場合。
- 7:特殊な同期タイミングの映像信号を入力したとき。
- 8:表示装置の映像処理に遅延がある場合。

遅延の状態は、スクリーン・メニューの「SPECIAL」-「FULL STATUS」の3ページ目（DELAY）で確認できます。ただし、これらの数値はあくまで目安です。

■端子の干渉

本機の「HDMI入力2」と「D入力端子」は、非常に近接しておりますので、ケーブル側の端子形状によってはこれらの端子を同時に使用できない場合があります。

現在確認されている端子はNintendo GameCube用の「D端子ケーブル」と、Nintendo Wii用の「D端子ケーブル」です。



■対応できない音声の解像度

本機ではHDMIの音声をそのままスルーすることができますが、下記の音声フォーマットには対応しておりません。

- ・ DSD の音声
- ・ 1bit の音声

■解像度が変わったり入力を切り替えると音声にノイズが発生することがある。

画面の解像度に変化があったり、入力を切り替えると表示装置によっては、音量（ボリューム）が最低に設定されていてもスピーカーからノイズが出力されることがあります。

■映像のサンプリング品質に関して

本機に入力されるアナログ映像は、A/Dコンバーターの仕様上、下記のようにサンプリングし、デジタル化されます。

[240p 映像の入力]

旧型のゲーム機は解像度が低いため、NTSCのノンインターレース（疑似インターレース）映像は多くの場合320x240ドット相当の解像度です。本機は水平方向のサンプリングが1440ドットであるため、水平は4倍でオーバー・サンプリングしていることになります。

[480i/p 映像の入力]

NTSCのインターレース映像（SD画質）の映像は、720x480ドット相当の解像度です。本機は水平方向のサンプリングが1440ドットであるため、水平は2倍でオーバー・サンプリングしていることになります。

[720p 映像の入力]

720p信号入力時は水平方向のサンプリングが1280ドットであるため、等倍でサンプリングしています。

[1080i/p 映像の入力]

1080i/p信号入力時は、水平方向のサンプリングが1920ドットであるため、等倍でサンプリングしています。

■特定の映像を表示すると画面がピンク色になる

テレビやディスプレイの機種によっては、本機の入力を切り替えた後、出力解像度を変更した際に、画面がピンク色になることがあります。

これは、テレビやディスプレイとの相性と思われ、表示装置のHDMI端子に映像を入力した際に発生します。

この問題を改善するには、本機のスクリーン・メニューの設定を変更してください。

「オプション」-「OUTPUT_COLOR」の設定を「RGB」に変更することで症状を改善可能です。

■画面上部に歪みが発生する機器があります

旧型のゲーム機（オールドゲーム機：例えばAVファミコンなど）の映像信号を入力すると、画面上部が歪む場合があります。

これは、本機が基準としているNTSC信号の信号タイミングと若干異なるため発生すると思われます。

本機ではこれらの歪みを改善できない場合があります。

■テレビとパソコン用ディスプレイの表示領域の違い

テレビの表示は一般的にオーバースキャン（画面の四隅の不要な部分は画面外にある）で、パソコン用のディスプレイはアンダースキャン（画面のすべての映像を表示する）です。これらの方式の違いにより、表示される映像の領域が異なります。

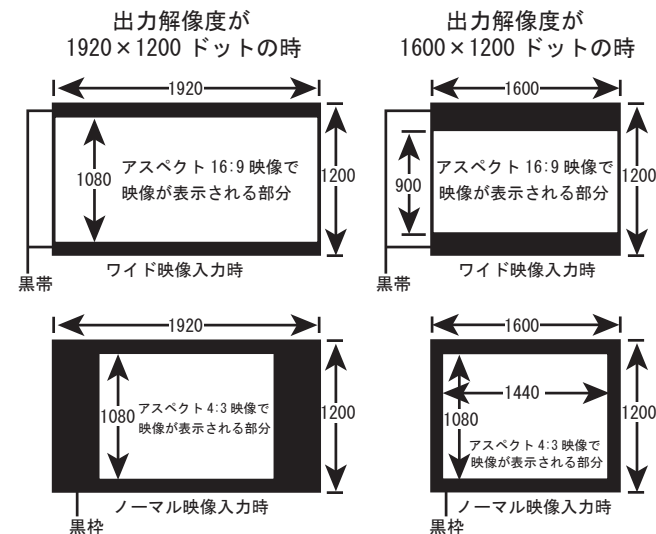
※家庭用テレビの機種によっては、アンダースキャンの表示機能を持つ物があります。

■入力可能なパソコンの解像度

入力できるパソコン映像の解像度はHDMI規格のビデオ解像度（480p、720p、1080i、1080p）のみです。DVI-D専用の解像度（パソコン専用の解像度）や、1920×1200ドットなど1920×1080ドット（1080p）を越える解像度の映像は、正常に表示できないことがあります。

■1920×1200ドット及び1600×1200ドット出力時の制限

仕様上の制限により、本機から出力可能な映像の垂直ドット数（ピクセル数）は1080までとなります。このため、本機の出力解像度が1920×1200ドットや1600×1200ドットの時は下図の様に表示されます。



備考：1920×1200ドットや1600×1200ドットのパソコン映像を入力した場合も上記制限により画面がスケーリング（縮小）して表示されます。

■インターレース（480i）とノンインターレース（240p疑似インターレース）の頻繁に入れ替わるゲーム映像に関して

旧型のゲーム機のゲーム・コンテンツには、インターレースとノンインターレースの表示が頻繁に切り替わるものがあります。本機では、「インターレース→ノンインターレース」、または「ノンインターレース→インターレース」という映像の変化は解像度の変更とみなされるため、映像が一瞬途切れてしまい、しばらく画面が表示されないなどの症状が発生し、快適なゲームプレイができない場合があります。

これは本機内部の処理の時間に加え、HDMIでの接続において、テレビ側が本機の映像、信号を認識するまで時間がかかるためです。

インターレースとノンインターレースの映像が頻繁に切り替わるゲームや解像度が頻繁に変化する映像の入力はお勧めできません。

なお、画面が表示されるまでの時間は表示装置によって異なります。

■CECのリンク機能について

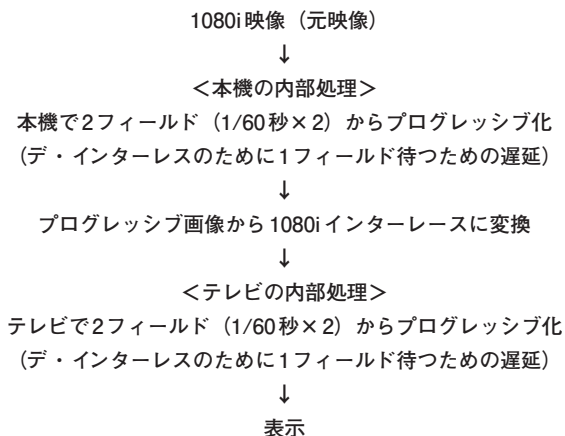
本機のHDMI入出力端子は、CECによるリンク機能に対応しています。本機では、HDMIの規格に沿った方式でCECのリンク機能が動作します。

このため、「HDMI入力1」、「HDMI入力2」はCECの制御機能を切り替えるなどはできません。あくまでHDMIの規格内の制御でご利用いただくことになります。

例えば、テレビのリンク機能を操作すると、「HDMI入力1」、「HDMI入力2」が同時に制御されてしまう場合があります。このため、お客様側でうまくリンク操作を工夫されるか、リンク制御したくない機器はリンク機能を「使用しない（オフ）」にしてください。

■1080i等インターレース映像が遅延しやすい理由

1080iなどインターレースの映像は、表示されるまでの間に、下記のように何度も画像処理を経由するため、遅延しやすくなります。1機器で1～2フレーム程度遅延して行きます（あくまでも目安です）。



このため、本機の利用用途が主にゲーム映像の場合は、本機からの映像出力（HDMI出力モードの場合）を、できるだけ1080i以外の解像度、「480p/720p/1080p」に設定し、プログレッシブ（ノンインターレース）で表示することをお勧めします。

また、本機の「画質モード」は、低遅延な「GAME1」、「GAME2」、「MEISTER」のご利用をお勧めします。

■表示装置の性能による遅延について

表示装置側の映像処理で発生する映像の遅延は本機では改善できません。表示装置によってはゲーム向けの低遅延モードなどを備えた機種もありますので、ご利用の表示装置の取扱説明書をよくご覧になって、表示装置の映像処理を低遅延な設定（ゲーム専用の表示モードなど）でご利用いただくことお勧めします。

■ゲーム機用のRGBケーブルにご注意ください

（ゲーム機をRGBケーブルで接続されるお客様へ）

端子形状が同じだからといって、そのゲーム機に対応していないRGBケーブル（または間違ったRGBケーブル）を使用する事はおやめください。RGB端子のピンの中には5Vの電源が出力されている物もあり、ケーブル内部の配線が異なる物を強引に接続すると、ショートや発熱が発生し、本機や大切なゲーム機が故障します。また、場合によっては接続したケーブルや機器が溶けたり、燃える恐れがあり、たいへん危険な状態になります。

- 各ゲーム機専用のRGBケーブルを使用してください。
- ケーブルの改造や自作をされる方は十分な知識をもって、自己責任で正しく改造・作成してください。
- 他のゲーム機のRGBケーブルを接続できるからといって強引に接続しないでください。ピンの配線が同じとは限りません。例えばNEOGEO用、MSX用、コントロールボックス用（アーケードゲーム）、などゲーム機側の端子は形状が同じ（8ピンDIN端子）でも、内部配線は異なります。映像が表示されていても音声の配線に違いがある場合もあります。
- PAL用のピン配列のRGBケーブル（21ピン端子）をNTSC配線の21ピン端子に接続しないでください。

ファームウェアのアップデートに関して

本機には、発売された後の機能追加などに柔軟に対応するため、ファームウェアのアップデート機能が備わっています。最新のファームウェアは、必要に応じて弊社Webページにて公開いたします。ファームウェア・アップデートの接続や手順に関しては、弊社Webページにてご確認ください。なお、お客様によるファームウェアのアップデートにてトラブルが発生した際は、有償修理になる場合がありますのでご注意ください。

HDMI入力を持つ表示装置を接続した際、全く映像が表示されない。

本機とご利用の表示装置の相性である可能性があります。スクリーン・メニューの「SPECIAL」内の「EDID_SELECT」の設定を「INTERNAL」に設定してみてください。設定変更後は本機と本機に接続されているHDMI機器を必ず再起動してください。

仕様

■本体仕様

入力	ビデオ端子 (RCA 端子) NTSC 1Vp-p (75 Ω) 音声 : アナログ音声 (ステレオ 2ch)
	S 端子 (4 ピン miniDIN) NTSC Y 信号 : 1Vp-p (75 Ω) C 信号 : バースト信号部で 0.286V (75 Ω) ※音声はビデオ端子と共用。
	D 端子 (MDR-14 ピン) : NTSC コンポーネント・ビデオ Y 信号 : 1Vp-p PB 信号 : 0.7Vp-p (±350mVp-p) PR 信号 : 0.7Vp-p (±350mVp-p) 音声 : アナログ音声 (ステレオ 2ch)
	RGB 端子 (8 ピン miniDIN) : NTSC 21 ピン RGB マルチ アナログ RGB 信号 : 0.7Vp-p (75 Ω) 同期信号 : 複合同期 (C sync) 0.3Vp-p 負極性 水平同期周波数 : 15kHz (NTSC 相当) 水平同期周波数 : 60Hz 音声 : アナログ音声 (ステレオ 2ch) ※ TTL デジタル RGB の入力には対応いたしません。
	HDMI 1/2 端子 (Type A) 19 ピン 端子数 : 2 系統 (HDMI HIGH SPEED 対応) ※1 信号帯域幅 : 225MHz (DVI 信号は 162MHz まで) TMDS 方式 (シングルリンク) HDCP 対応 映像 : 対応最大解像度 : 1080p (60p) パソコン解像度 : 1920×1080 ドット・ノンインターレース 表示装置が対応可能な場合は DeepColor (36bit[各 12bit]) に対応。※2 音声 : デジタル音声パススルー ※3

出力	19 ピン・HDMI 端子 (Type A) 信号帯域幅 : 225MHz (DVI 信号は 162MHz まで) TMDS 方式 (シングルリンク) HDCP 対応 対応最大解像度 ビデオ解像度 : 1080p (60p) パソコン解像度 : 1920×1080 ドット・ノンインターレース 表示装置が対応可能な場合は DeepColor (36bit[各 12bit]) に対応。※2 音声 : デジタル音声パススルー※3 アナログ音声は 48kHz に A/D 変換し、PCM 形式で出力。
電源	専用 AC アダプターにより供給 電圧 : DC 5V、最大消費電流 : 2.3A、 最大消費電力 : 11.5W
本体寸法	幅 193mm×高さ 32.5mm×奥行き 119mm (ボタン、コネクター、ゴム足の凸部を除く)
重量	本体:約 290g AC アダプター :約 130g ※重量は生産時期によって若干変わることがあります。

※1: HDMI 1.3 相当の信号に対応。HDMI 1.4 規格の信号には対応いたしません。
 ※2: 30bit (各 10bit) 及び 48bit (各 16bit) DeepColor の HDMI 信号には未対応です。
 また、DVI 端子付きの機器に接続の際は、DeepColor は使用できません。
 ※3: 対応できない音声モードがあります。詳しくは、52 ページをご覧ください。

■対応入力解像度

	HDMI Y,Pb,Pr (Y,Cb,Cr) /RGB	DVI-D (RGB)	D 端子	アナログ RGB	ビデオ /S
240p (60p)			○	○	○
480i (60p)			○	○	○
480p (60p)	○	○	○		
720p (60p)	○	○	○		
1080i (60i)	○		○		
1080p (60p)	○	○	○		
1080p (24p)	○※4				

※4：1080p (24p) は本機で60pに変換されます。

※DVI-Dでパソコンを接続する場合は、HDMI互換の480p/720p/1080pのビデオ解像度を持つ機種のみ対応可能です。その他の解像度は必ずしも表示できるとは限りません。

■対応出力解像度

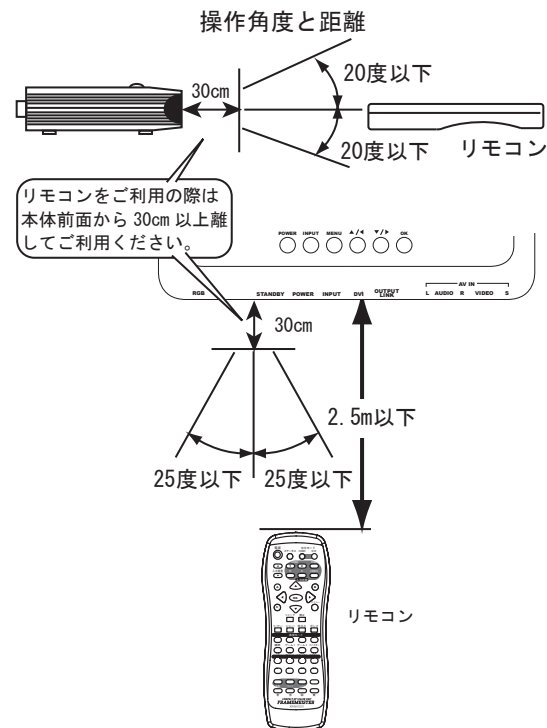
	HDMI Y,Pb,Pr (Y,Cb,Cr) / RGB	DVI (RGB)
480p (60p)	○	
720p (60p)	○	
1080i (60i)	○	
1080p (60p)	○	
640×480 ドット (60Hz)		○
800×600 ドット (60Hz)		○
1024×768 ドット (60Hz)		○
1280×768 ドット (60Hz)		○
1280×800 ドット (60Hz)		○
1280×960 ドット (60Hz)		○
1280×1024 ドット (60Hz)		○
1360×768 ドット (60Hz)		○
1600×1200 ドット (60Hz)		△※5
1680×1050 ドット (60Hz)		○
1920×1080 ドット (60Hz)		○
1920×1200 ドット (60Hz)		△※5

※5：表示領域に関して制限があります。55ページをご覧ください。

■リモコン仕様

通信方式	赤外線
電池	単4乾電池 1.5V×2 (マンガン電池、アルカリ電池に対応)
寸法	幅 60mm×高さ 175mm×奥行き 24mm (ボタン凸部を除く)
電源	乾電池
重量	83g (電池を除く)

同梱のリモコンは、下記の角度と距離の範囲内でご利用いただけます。



※リモコンと本体の間に障害物無きこと。

※直射日光の当たる場所で使用すると正しく機能しないことがあります。

※リモコンは、人に向けて操作しないでください。

トラブルとQ & A

製品をご使用の際に問題が発生したときは、下記事項をご確認ください。また、製品に不具合が発生したときは、販売店様へお問い合わせをされる前に、まず弊社へお問い合わせいただき、本当に製品が故障・不良であるかどうか確認することをおすすめします。お問い合わせで解決する不具合もあります。

お問い合わせは、お電話または、弊社Webページの「お問い合わせフォーム」をご利用ください。

「待機ランプ (STANDBY)」が点灯しない

ACアダプターを接続しても「待機ランプ (STANDBY)」が点灯しなかったり、本機の電源を「オン (入)」にしても「電源ランプ (POWER)」が点灯しないときは、ACアダプターをACコンセントから取り外し、弊社へご連絡ください。このような症状の場合、電源に関する何らかのトラブルが発生している恐れがあります。

接続したが映像や音声が表示・出力されない

- ・本機の「入力」側に接続している機器の設定でHDMI端子からの信号出力が「オン (入)」になっていますか？
機器によってはHDMI端子からの映像や音声の出力設定が初期設定で「オフ (切)」になっている事があります。
- ・本機や表示装置を起動（電源「オン」）する前に「入力」側の機器を起動（電源「オン」）していませんか？
入力側の映像機器を本機や表示装置（テレビなど）より先に起動すると、映像機器が映像を出力しないことがあります。
- ・ケーブルなどは正しく接続されていますか？もう一度ご確認ください。特にHDMI端子の入出力は間違えやすいのでご注意ください。
- ・本機に接続している機器を再起動してみてください。
- ・「出力モード」の設定は正しいですか？
- ・解像度の設定が間違っていると正しい表示ができません。リモコンの「セーフティー」ボタンを2秒以上押して、解像度を最も低い状態にしてみてください。

映像や音声为正しく出力されない（画面の点滅やノイズ、音声の途切れが発生する）

- ・ケーブルの伝送品質の問題が考えられます。もし長いケーブルや、HDMI端子の挿抜を繰り返し、端子接点が劣化したHDMIケーブルをご利用の場合は、短く、新しいケーブル（1メートル前後の物）に変更してみてください。
- ・様々な機器を複雑な組み合わせで接続していませんか？ HDMI分配器やHDMI切替器、AVアンプなどを接続し、複雑な配線にされている場合は、まずは本機の正常な動作を確認するため、簡素な接続で動作を確認してください。

例：DVDレコーダーやゲーム機 → 本機 → TV

- ・DVI端子の表示装置に接続しているときに、「DeepColor」の設定を「自動」にしていませんか？
DVI端子を持つ表示装置に接続する際は、設定を「オフ」にしてください。
通常「DeepColor」の設定は「自動」に設定されていても機器が対応していなければ「オフ」になりますが機器によっては自動で動作しないことがあります。入力された映像が乱れたり、表示しない場合は、設定を「オフ」にする必要があります。

テレビのスピーカーから音が出ない

本製品にAVアンプやホームシアターラックが接続されていませんか？テレビの多くはステレオ2ch（リニアPCM 2ch）にのみ対応しているため、AVアンプやホームシアターラックで5.1chなどのサラウンド音声を利用しているとき、テレビのスピーカーからは音声が出力されません。

HDMIケーブルで機器（ゲーム機など）を接続していると、本来の音声が届かず、ノイズだけが聞こえる

HDMIケーブルで接続されている機器の音声の設定が「サラウンド」などに設定されていませんか？

テレビなどステレオ音声にのみ対応した機器では、機器の音声出力設定をステレオ音声（Linear PCM 2ch）にしてください。

HDMIの映像を入力すると、テレビ画面に「対応していない音声信号が入力されています」などの警告メッセージが表示されてしまう

テレビに未対応のサラウンド音声が入力されるために発生する問題と思われます。本機のHDMI入力端子に接続している機器を再起動し、音声の解像度を再認識（再設定）してみてください。

本機の電源が「オン」の時HDMIケーブルを一旦取り外したら映像や音声が出なくなった

HDMIにはホットプラグという機能があり、機器の電源がオンの時にケーブルを挿抜しても良いという仕様になっていますが、機器の仕様によっては必ずしも正しい映像や音声が出力されるとは限りません。

HDMIケーブルの挿抜は、各機器の電源が「オフ（ACアダプターが繋がっていない状態）」または「スタンバイ（待機）」の時に行ってください。

CECによるリンク機能が希にうまく動作しない

CECによるリンク機能の操作は、機器の電源起動手順によっては、特定の機能が一時的に利用できなかったり、動作しないことがあります。その様なときは、本機や接続している機器の起動の順番を変えるなどして、操作を試してください。

HDMIモードで出力解像度を「480p」に設定すると、画面の比率（アスペクト）がおかしくなるのですが？

本機の出力解像度が480pの時、他の出力解像度と同様にワイド（16:9）のアスペクトとして出力しています。しかし、表示装置の中には480pをノーマル（4:3）のアスペクトとして扱う機種があり、これらの表示装置では画面のアスペクトがおかしくなることがあります。この様な表示装置では、できるだけ480p以外の出力解像度（720p,1080i,1080p）でご利用いただくことをお勧めいたします。

画面をもっと鮮明にしたい、または画面の質感を変更したい

お手数ですが、スクリーン・メニューの「画面特殊設定」内にある「AUTO_SCALER」の設定を変更してみてください。「ビデオ」に設定すると画面の質感が柔らかくなります。「ゲーム」に設定すると画面の質感がシャープになります。これらの設定で満足できない場合は、「オフ」に設定して、「H_SCALER」と「V_SCALER」の設定を変更し、好みの質感

に調整してください。

表示装置に接続されているHDMIケーブルを一旦取り外し、DVI端子の表示装置に接続を変更したら（または、DVI端子からHDMI端子に接続を変えたら）映像や音声が出なくなった。または、画面の色がおかしくなった

本機の出力端子に接続する端子の形状を変更するときは本機の「出力モード（HDMIまたはDVI）」を変更する必要があります。下記の手順で操作してください。

- 1、各機器の電源を「オフ（またはスタンバイ）」にする。
- 2、出力ケーブルを表示装置に接続する。
- 3、本機や各機器の電源を「オン」にする。
- 4、本機のリモコンの「出力モード」のボタンを押して出力モードを変更する。

表示装置の接続端子を「HDMI」から「DVI」に変更する
→「DVI」ボタンを押します。

表示装置の接続端子を「DVI」から「HDMI」に変更する
→「HDMI」ボタンを押します。

- 5、画面になんらかの映像（ブルーバック映像）が表示されたら、リモコンなどでスクリーン・メニューを表示し、「DVI出力モード」または、「HDMI出力モード」からご利用の表示装置に最適な解像度を選択して設定してください。

※正しく画面が表示されない場合は、リモコンの「セーフティー」ボタンを2秒以上押してください。出力解像度を最低にするなどし、映像を映りやすくします。

※画面がピンク色になるなどの症状が発生する場合は、「オプション」-「OUTPUT_COLOR」の設定を「RGB」に設定してみてください。

PlayStation3をHDMIで接続している時、DVDやBlu-rayを再生すると画面がピンク色になったり緑色になってしまいます

ビデオ映像の再生時のカラー設定（BD/DVD映像出力フォーマット）を「RGB」または「Y,PB(Cb),PR(Cr)」固定の設定にしていますか？ PlayStation3側のカラー設定は「自動」にしてください。また、PlayStation3の「ディスプレイ設定」をやり直すことで改善される場合もあります。

出力リンク・ランプ（OUTPUT LINK）が点灯しない

- ・ HDMI 信号が入力されていないとき、出力リンク・ランプは点灯しません。
- ・ テレビ側の入力チャンネルの設定は正しいですか？
本機が接続されている表示装置側（テレビ側）の外部入力チャンネルが正しく設定されていないとテレビによっては点灯しないことがあります。
- ・ テレビの電源が「切（オフ）」または「待機（スタンバイ）」の時も点灯しません。

HDMI映像を入力すると、画面に「HDCP Error」という文字が表示され映像が表示されない

映像信号に著作権保護が含まれ、なおかつご利用の表示装置などが著作権保護機能(HDCP)に対応していない場合に表示されます。このメッセージが表示される場合、ご利用の表示装置などで映像や音声を出力することができません。

「スクリーン」の各機能を使用すると、画面に「未対応画面（標準画面）」というメッセージが表示される

現在入力されている映像信号の解像度が高く（1080p など）、本機の処理能力では対応できない場合に表示されます。このメッセージが表示されるスクリーンの機能は使用できません。

テレビやDVDレコーダーの電源が勝手に「オン」になったり「オフ（スタンバイ）」になったりする

テレビやDVDレコーダーのCECによるリンク機能で「連動電源」の設定が「有効（オン）」になっているためと思われます。

本機はCECによるリンク機能に対応しておりますので、この端子に接続された機器と、本機のHDMI入力端子（HDMI入力1及び2）のに接続された機器は、CECによるリンク機能が動作します。

以前はゲームの映像がなめらかに表示されていたのに、最近映像がガタついて表示されるように感じます

リモコンの「セーフティー」ボタンを使用した記憶はありませんか？「セーフティー」ボタンを使用すると「同期モード」が「オフ」になってしまい、画面がなめらかに表示されなくなる場合があります。お手数ですが「同期モード」の設定を「自動」に設定してください。

本機の入力チャンネルを操作したり、入力信号に変化があった後で、映像が乱れたり、表示されなくなる、音声しか出力されなくなる

HDMI端子付きの表示装置やHDCPに対応したDVI端子付きの表示装置で、表示の動作が安定しない症状が頻繁に発生する場合は、「SPECIAL」内にある「EDIDオプション」の設定を「HDMI」に設定してください。症状が改善される場合があります。

お、「EDIDオプション」の設定を「HDMI」に変更すると、HDCPに対応していないDVI端子付きの表示装置で映像がまったく表示されなくなるなどの症状が発生することがありますのでご注意ください。

「EDIDオプション」に関しては41ページを参照してください。

これらのチェックでも原因が見つからなかった場合は、まず弊社にご連絡いただき、担当者の指示に従ってください。それでも問題が解決しなかった場合は、お手数ですが同梱の保証書に必要事項をご記入のうえ、商品と一緒に弊社までお送りください。

保証規定にそって無料で検査・修理いたします。（修理をご依頼の際は、本体・ACアダプター、保証書などの同梱品を必ずお送りください。）

ただし、保証書が無い場合や、保証期間を過ぎてからの修理、保証期間内であっても故障の原因がお客様の不注意によるものであった場合は、修理費の請求をさせていただきますので、あらかじめご了承ください。動作不良の症状や故障の状況に関しては、サポートシートなどに詳しくご記入いただき、修理ご依頼の際に同梱してお送りください。なお、修理にかかる時間は、場合によっては最長で2週間前後かかることがあります。

製品内容のご質問・修理のご依頼は下記までお願いいたします

〒541-0041 大阪市中央区北浜3丁目2番25号
 京阪淀屋橋ビル6階 電波新聞社・大阪本社内
 マイコンソフト株式会社
 TEL 06-6203-2827

弊社Webページの「サポート・フォーム」からもお問い合わせ可能です。また、お問い合わせの多いご質問は、弊社Webページにて閲覧可能です。

弊社ホームページURL <http://www.micomsoft.co.jp/>

修理ご依頼時の送付・梱包に関して

- 原則としてお客様から弊社へ製品をお送りになる際の送料はお客様のご負担にてお願いいたします。ただし、初期不良の際の送料に関しましては、発送前にお電話などで弊社にお問い合わせください（事前のご連絡無しに送料着払いで製品を発送されることはご遠慮ください）。
- なお、弊社から、お客様へ製品を発送する際の送料は弊社が負担させていただきます。
- 本機は精密機器です。発送の際は、「われもの」または「精密機器」として発送してください。また、発送時の梱包は、クッションで製品を包むなど、輸送時に衝撃が加わらないようご配慮ください。なお、輸送中の事故や衝撃による破損に関しましては、弊社は責任を負いません。
- 修理をご依頼の際は、必ず、「本体」と「ACアダプター」、「保証書」を一緒にお送りください。本体のみの送付や、ACアダプターのみの送付では、症状を確認できません。また、お手数でもサポートシートなどに発生している症状や接続している機器（映像機器やテレビ等のメーカー名や型番）の詳細をご記入ください。

【個人情報保護法に関する記述】

保証書や製品サポート・シートに記入されたお客様の個人情報は、ご購入いただいた製品の保証・サポートに利用される物であり、それ以外の用途に利用されることはありません。尚、お客様の個人情報は、利用目的の達成に必要な範囲内においてその取り扱いの全部または一部を第三者に委託することがあります。第三者に委託する場合には、お客様の個人情報の適切な管理が図られるよう、委託先に対して必要かつ適切な監督を行います。

<商標に関する記述>

- HDMI、HDMIロゴ及びHigh Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing,LLCの商標または、登録商標です。
- その他、本書に記載された商品名及び会社名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。
- 本文中では、TM、®マークは基本的に明記していません。

—【画面が表示されなくなってしまうたら！】—

なんらかの設定ミスや出力解像度の設定間違いによって、本機からの映像がまったく表示されず、操作できなくなってしまった場合は、下記の方法で復旧可能です

- リモコンの「セーフティー」ボタンを2秒以上押す。



解像度や設定を変更し、映りやすくします。

※この機能を使用すると「同期モード」や「DeepColor」の設定も「オフ」になります。

- 本体の「メニュー・ボタン」と「OKボタン」を同時に押しながらACアダプターを接続する。本体前面の4つの緑色のランプ（順番に点灯する）がすべて点灯し、消灯後にボタンから指を離す。その後、「電源ボタン」を押す。



本機をリセット（工場出荷時への初期化）できます



製品内容 ・ トラブル ・ 修理に関するお問い合わせ先

マイコンソフト株式会社

〒541-0041 大阪市中央区北浜3丁目2番25号
京阪淀屋橋ビル6階 電波新聞社 ・ 大阪本社内
TEL 06-6203-2827
Web ページ URL <http://www.micomsoft.co.jp/>

販売 ・ 流通に関するお問い合わせ先

株式会社 電波新聞社

〒141-8715 東京都品川区東五反田1-11-15
TEL 03-3445-8201（販売部 ・ ダイヤルイン）